京城日報

十四日夕刊

定價 本紙一部金五錢 一ヶ月金五拾五錢 廣告料 發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通二丁目 合資會社京城日報社

◎安協的解決を見ん
鄭家屯事件交涉近く調印

鄭家屯事件交涉に關する支那側の回答は直ちに日本政府に報告され日本政府の訓令に依り安協的解決を見る事となれるが支那側にては日本諸新聞紙の論調よりするも赤章公使の報告に徵するも此の問題は圓滿に打ち切りと見做し頗る樂觀し居れり支那側の回答を基礎として交涉案を整理する事とせば字句の修正其の他小問題に外ならず更に二三回の會談を爲さば調印するに至るべし（北京特電）

◎獨逸の再通牒
中立國に向つて發せり

伯林來電＝獨逸政府は十一日中立國政府に向つて更に通牒を發したり其大要は既に協商國側政府より獨逸の講和會議提議を拒絕する旨の返答を接手したる旨を記し次に該返答は之に對して更に獨逸側の回答を必要とせざるが如き用語を以てせられたれども獨逸政府は現下の時局に對して中立諸國に對し更に其の意見を告げ置くの必要を認むとて次の如く記せり（紐育電報）

獨逸並に其の同盟國は現戰爭の原因に關して兎角の對論を爲すの必要を認めず戰爭の責任が果して孰れに在るかは歷史が追つて證明すべし歷史はサラエヴォに於ける塞國人の兇行、獨逸に對する露國の動員、君府に對する露國の野心、佛國の復仇的政策及び英國の不法なる封鎖行爲等に對して公正なる裁判を下すの日ある事を確信す

◎憲政會の對議
會策協議

憲政會の對議會策に關する最高幹部會は十三日午後五時より加藤總裁邸に於て開かる會する者各顧問總務幹事長等にして三黨首領會合に對しては單に首相の通告を聽取し置く事とし討議會策としては大體不信任案提出に決し居るも首相の施政方針演說に對しては一應質問を試むるべく不信任案の形式方策は總て院內總務に一任する事に決し不信任案提出の時機に就ては國民黨との交涉如何に就て決すべく或は開會劈頭提出するに至るべく猶黨內歡派議員の結束に努むべく申合せ散會せり（東京特電）

◎美濃部總裁通過　美濃部鮮銀總裁は滿洲視察の途次十四日夜安東縣通過奉天に向ふ（安東縣特電）

◎矢田書記官通過　前奉天總領事代理大使館書記官矢田七太郎氏は十四日朝釜山發櫻丸にて內地に向へり（釜山特電）

◎山岡技師通過　山岡技師は十四日朝釜山發櫻丸にて內地に向へり（釜山特電）

◎米國軍人通過　米國陸軍大佐アロヴデー氏は十三日夜新羅丸にて釜山發內地に向へり（釜山特電）

◎總督視察 景福宮　長谷川總督は武官副官秘書官等を隨へ十四日午後一時自動車を驅つて景福宮に赴き新廳舍の敷地及び博物館を視察したり

◎登錄件數激增　鑛業登錄事件は客年末に際し頓に激增を加へ十一月に於て受附件數三百二十三件內登錄濟二百二十六件に對する登錄稅納入額金一萬三百四十四圓七十錢十二月に於ては受附件數五百五件內登錄濟三百六十一件に對する登錄稅納入金一萬二千六百三十七圓五十錢にして之を客年四月鑛業登錄規則施行後同九月に至る六箇月間の平均數（受附件數二百十六件登錄稅納入額八千六百三圓八十六錢）に比し十一月は受附件數に於て四割九分强登錄稅に於て二割强十二月は受附件數に於て十三割三分强登錄稅納入額に於て四割七分弱の增加を示したり

◎鐵道倉庫成績　鐵道局營業倉庫龍山外二十一箇所の一月上旬營業成績を聞くに入庫一千百五十六噸出庫三百三十八噸にして之が收入二百四十三圓二十六錢なりと

◎露貨換算率　日滿聯絡貨物引換代金換算率中東淸線及び烏蘇里線等の場合は一月十二日以降當分の內百留に付貨百七十六留と協定され又鐵道局線發日滿聯絡運輸旅客運賃中長春諸驛間露貨運賃の換算率は一月十四日より露貨百留に付日貨五十六圓十八錢と協定されたり

◎京畿地方費豫算　大正六年度京畿道地方費豫算は目下各係に於て材料蒐集調査中なるが來る二十日頃には全部出揃編成を見るに至るべし而して本年度豫算は大體に於て多少の減少を來すべしといふ右は歐洲戰亂の影響を受けて牛皮暴騰の結果屠場使用料其他の一時的增收のものが殆んど今日に在りては舊態に復したると一方市場使用料等の關係により年々膨脹すべき性質を帶びながら以上の理由にて減少を見るに至れりと

◎京城商議役員會　大正六年度歲入出豫算及び會議所事務所移轉問題等に關し十六日午後二時より役員會を開會し追て總會をも召集すべしと

◎金谷府尹の招宴　金谷京城府尹は十三日午後六時より花月に於て松永長官を始め官民四十餘名を招待し晚餐會を開きたるが主人側を代表して金谷府尹の挨拶來賓を代表して松永長官の謝辭等あり主客歡を盡して九時半散會したりと

◎風波と連絡貨物
釜山の停滯六千噸に及ぶ

釜山第一棧橋鐵道院營業課派出所取扱に係る連滯並に釜山地發貨物の輸送狀態は數に報道せる如く連滯貨物は一日の輸送制限五百五十噸地發共に過ぎざるを以て朝鮮鐵道局營業課と課合可成沿線貨物の積送を手控へ從來停滯の貨物を減退せしめんと貨車の配合を爲しつゝあるを以て新年早々には著しく減退すべきを期し居たるに過般來の

▲海上風波　に妨げられ爲めに所期の輸送を減せられし數量は少くも五千噸を越ゆべく延ひて其影響を蒙り十三日現在の停滯貨物は六千餘噸に達し內九州行千四五百噸を除くの外は全部山陽線經由本土行にして其主なる貨物は矢張り米豆類豆粕等なるが之等の貨物は昨今出貨時機なるに依り沿線各驛に於ても成るべく貨主の利便を計り輸送に努めつゝある狀況なるを以て現在の輸送力に依るときは順調に輸送することは到底見込を附くること能はざるも院線營業課派出所に於ては事情の許す限り制限超過の輸送を爲し居れるも如何にせん山陽線の輸送力は一日二千噸に過ぎざるに同沿線貨物も各地停滯の狀態に在るを以て朝鮮よりの移入輸送は止むを得ず運滯地發を合して五百五十噸に制限したるは事情明白にして假りに一步を進めて制限外に多數の輸送を爲したりとて下の關に於ける陸上に支障を生じ

▲貨主の迷惑　は今日以上甚だしきを見るべく何れの點よりするも現在以上の輸送は絕對に不可能なりと知るべし備鐵道院に於て新に貨物船を備入れ阪神に直航輸送を爲すの計畫ありとの風評あるも之は全然事實にあらず鐵道院として連絡以外に船舶輸送を經營すべき性質のものにあらざるは云ふ迄もなかるべしと當局者は語れり（釜山）

◎釜山と取引所　南鮮に於ける米穀其他生產物の集散地として將又た朝鮮優秀の貿易港たる釜山の進展上豫て宿題として釜山有力者間に計畫せられつゝありし釜山米穀取引所設立の議は時運到來したるに因り去る十二月一日定款目論見書・[illegible]を添へて認可申請書を慶尙南道廳へ提出したりしに同廳に於ては種々調査の結果認可申請書を同月十一日朝鮮總督府へ回送したる由なるが資本金は一百萬圓にして株數二萬株一株金五十圓とし第一期拂込は四分の一なり一株十二圓五十錢次回には金二十五圓發起人引受株數二千株と確定し殘り八千株は悉く一般より公募する筈也（釜山）

◎貨物船入港　大阪商船會社第二回臨時船第二十七永田丸は來る十七日釜山入港米穀類一萬一千叺を積取り阪神に直航の筈なり又た神戶鈴木商店傭船公利丸は靑島より食鹽五百噸を搭載し十二日釜山に入港したるが同船には釜山より米四千叺及び綿一千三百梱を積取り十三日午後大阪へ向へ出帆したり（釜山）

◎釜山稅關長消息　歐米各國に於ける稅關事務視察の爲め出張中なる釜山稅關長矢野久三郎氏は去る十二月中旬倫敦出發米利加に到り本月中旬同國發二月十五六日頃橫濱に歸著の豫定なる旨大谷稅關長代理へ此程通知し來りたりと（釜山）

◎釜山と田村氏　朝鮮總督府の委囑に依り京城南山公園の改良設計を爲すべく來鮮中の帝國大學講師田村剛氏は來る十七八日頃來釜の趣きなるを以て府廳に於ては同氏に請ふて龍頭山公園の施設に對する意見を需め場合に因りては一場の講演を請ひ意見を聽くべく希望し居れり（釜山）

◎南鮮水產視察　朝鮮沿海の水產視察の爲め巡回中なる總督府農商工部水產課長生田淸三郎氏は十四日元山方面より迎日灣に來たり同地の鰊漁を視察するに就き朝鮮水產組合長大原庄太郎氏は十三日夜行列車にて大邱に赴き慶北道廳吉松第一部長高橋同水產技手と同道浦項に到り十五日同地より江慶丸に乘込み實査を爲す豫定なりと（釜山）

◎群山取引所請願　群山に於ける取引所設立問題は既報せる如く十二月下旬發起人の調印を終り創立請願書を提出の豫定なりしが發起人の他數が米穀當業者にして恰も各月中旬以來講和問題の餘波を蒙り米價の低落日に亟ぎ當業者の多數は持米の手當に忙殺せられ爲めに請願書類の作成に支障を來したるも本春早々より再び準備に著手し發起人三十名の調印を了し愈々十三日附を以て群山府廳を經由し當局に提出の運となれり

◎仁川港と船舶注意　仁川港內は最近漢江の流氷盛んにして干潮の際は船舶の入港不可能となり何れも潮を浮つて入港しつゝあるが刻々浮動する流氷は動もすれば挂燈浮標の位置を轉せしむる事あり遞信局海事課にては小蒸汽船を派し當時其の注意を怠らざれど一般航海業者は相當注意を要すべしと

◎仁川稅關鑑定價格　仁川稅關にては來る十六日より大豆小豆等に對し左の如く鑑定價格を變更す（仁川）

大豆上七圓七十錢▲中七圓三十錢▲下六圓八十錢▲小豆上八圓六十三錢▲中七圓六十八錢▲下六圓八十二錢▲小麥七圓三十錢▲荏胡麻子百斤六圓五十七錢

◎客月仁川財界　前月來の船車缺乏を承けて米豆の搬出大に阻害せられたるも臨時船の廻船其他の方法にて稍分の疏通を得て時季柄輸送絕えず移出界亦好調を持續せられたりて地方買出資金は多少手控へせられたり入金は頗る多く米穀移出手形の取入少からず[illegible]類は高値保合の商狀を持續したるも奥地相當あり地方民は以に一般米豆商に勝せる爲め貸掛手形の回收は極めて順調に其他市中は歲晚の拔紙販賣にして新年用實行良く一般商賈は年末に際し各種決濟需要多く資金融通は頗る繁にして央頂講和牌は內地財界の混亂を招きたるも仁川は幸にして歲末市況は先づ好景氣に金融亦兼併に經濟する事を得たり今之を仁川の月末帳尻に徵し翌月末に比するに預金は二百圓を減じ貸出に於ては實に二十五萬圓を增加するに至りたり而して新年に入らば於へ米豆の移動も尙多かる可く金融益々繁忙の緒推移すべき見込なり（仁川）

◎大阪より

▲歐洲航路一策　獨逸潛航艇の爲め危害を受ける事多きより郵船社にては之が善後策を講じつゝありしが神戶支店にては此際配船表より歐洲各港の著發期日を削除し新聞廣告に歐洲船發著期日を揭載せざる事とし度旨本社に提議したる由是は神戶にある或種の間諜を恐れての爲めなり地中海航海の郵船は鳥羽丸以來海山丸河內丸等何れも危險を突破したれども本船の著發は最高幹部以外一般の社員にも最秘の裡に行動せし以て好成績を擧げたり故に將來は斷じて歐洲航路の著發を發表せざる方針を執るならんと

▲電球界の將來　電球界の現狀を觀るに從前使用したるカーボンは既に廢棄されタングステンが一般に普及され居れり之を外國に見るも今やタングステン全盛也されば現今の電球は世界一樣にタングステン級に進み之を普及使用し居る狀態なれど往々タングステンに一級を進めたるニトロランプを使用する向あり這は百五十燭光以上のもののみにて其れ以下のものは作製せられざるを以て實用に適せざる有樣なり今一步を進むる時はアルゴンありネオンあり然りと雖も後者の二は殆んど理想に止りて使用し得るに至るは尙遠きなりタングステンも茲四五年も經過せば或は廢棄せられたるカーギンの如く取扱はれ之に代ふるにニトロランプを以てするに至るも知れざるべく尙進みてはアルゴンネオンに及ぶべしと

▲大阪市內物價　大阪商業會議所調査十二月中市內物價八十種以上の內騰貴せるは四十種下落せるは二十二種持合十七種品切一種なり

▼騰貴せるもの　玄米白米大豆大麥醬油黑糖身缺鰊淸酒木棉裏地足袋其棉打棉緞通甲斐絹花色絹麻苧蓙耶製洗濯鹼類毛布コークス薪木炭石油菜種生蠟油粕煉瓦板硝子アニリンダイス皮革鯨粕等

▼下落せるもの　白砂糖鰹節食鹽小麥粉茶鉛コーヒ茶苛性曹達等

▲石粱禪師病狀　昨秋腦溢血にて右半身不隨となり一時危篤を傳へられたる曹洞宗宇治黃檗寺主西野石粱禪師は昨今快方に向ひつゝあるが大畫紙に五十音を大きく認めさせ文字を指して意志を發表しつゝあり

▲增資修正運動　大阪商船增資問題に關し愈に重役會に於て內定せる原案の增資株式二株に對し一株を割當つべき筈なるが近時北濱邊の株主中には修正案を振廻して原案を打破し自己一味の利益を獲得せんと策し既に修正案即ち一株に一株若くは四株に三株案を出し株主間に運動しつゝあるが二十四日の總會に於ては奏効覺束なかるべしと（大阪支局）

＝開城＝

▲都橋市場總會　株式會社都橋市場にては本月廿五日同社事務所に於て定期總會を開き大正五年度營業報告並に同決算表貸借對照表財產目錄承認の件、役員報酬に關する件等を附議する由▲舊年末金融　陰曆正月も既に旬日に迫りたるが鮮人側の年末金融は頗る順調にして一般の取引最も圓滿良好なるべしと推測せらる▲奉納俳句　開城神社に奉納すべき俳句の募集中なる鯉鳴會にては昨年建立せられたる開題四季隨意五句まで入花料十錢締切は十五日なるも便宜上二十五日迄は受付くる由四方雅客の投吟を望むとなり▲記念品　過般當地警察署より河東署長に榮轉したる川原警部に對し官民有志者より記念品贈呈の企てあり申込者多數なりと

＝平壤＝

▲平南と檢米成績　平安南道に於ける客年十二月中檢米成績は總檢數上一九七四四叺內一八六叺上格五七〇叺下格甲一七二六二叺同乙一七二六叺中六九九八叺內上格六叺下格甲六八四八叺同乙五四叺下三三七七叺下格甲三二八六叺同乙九二叺にして檢查總數上中下を通じて三〇一二〇叺優等一八六叺上格六六六叺下格甲二七三九六叺同乙一八七二叺なりと而して下格乙と稱するものは夾雜物百分の八以上を含有するものなり▲中學校武術寒稽古　平壤中學校に於ては來る十五日より每朝午前七時半より同八時半迄劍柔道の寒稽古を開始する筈なるが敎師は劍道部河野敎諭柔道部は杉浦囑托敎師にて二月七日迄修業すべしと▲平壤監獄近況　平壤監獄一月十三日在監者總員は八百四十五人にして其內刑事被告人內地人八人鮮人九十八人外國人三人計百〇一受刑者內地人五十人鮮人六百三十八人外國人五十七人計七百三十七勞役場留置四人携帶兒四名にして受刑者中無期懲役鮮人男二名同女四名有期十五年以上の囚人鮮人二十外人一なりと又五年中在監病死者は本分監を通じて僅かに十三名に過ぎず四年度の四十數名に比して殆んど四分の一に相當す此れ近時監獄衛生の普及せるの現象と見る可く五年度死刑者は一五名內男一三女二何れも鮮人にして假出獄一九亦又朝鮮人のみなり▲平壤電氣會社招宴　平壤電氣會社に於ては十二日午後六時より旭町料亭大同館に平壤の主なる官民六十餘名及び新聞記者等を招待し新年宴會を催したるが席上宮川社長は立ちて新年の辭及び平電の現況を述べたるに對し工藤平南長官は來賓一同を代表して鄭重なる謝辭を述べ終りて酒宴に移り杯盤酒間を斡旋し主客歡を盡して午後十一時過ぎ撤宴したり▲工藤長官出京　工藤平南長官は十三日午後一時發列車にて道長官會議列席の爲め井川勸業課長尾地方兩主任を隨へ出京したるが京城滯在は約一週間の豫定なりと

＝安州＝

▲炭坑現況　安州郡にある明治鑛業會社の經營する安州炭坑は目下採掘人夫一五〇人にして四年度採掘量一一七三噸五年度三五〇一噸に及び漸次採掘量を增加し販賣數量も隨つて增加し五年度にありては千噸のみにて四百五十萬斤の販賣を斗し益々增加の傾きあるがこは一面戰亂の影響を受け船腹不足の爲め內地炭の輸入不可能となりしと一面撫順炭に比し價格約半値段にて需要さるゝに基因するものなりと

＝群山＝

▲坂上氏出馬　當地鮮南勸業株式會社々長坂上貞信氏は鄉里山口縣下の衆議員補缺選擧に向ひ逐鹿場裡に激戰の結果形勢頗る有望なりしとの情報ありたるも選擧の結果は未だ不明なりと▲繩叺設定價格　全北繩叺匿名組合に於ける買價設定價格は從來總更の都度道長官の認可を受くる規定なりしが今回該認可權限を府尹に委任する事となれり▲繩叺過剩　昨年十一、二月米穀の移動旺盛期に入りてより繩叺の拂底甚しく一時は二十七八錢の高値を唱へ然も在荷薄く米穀當業者は非常の不便を感じつゝありしが昨今は反動的に製產過剩を來し上物十三錢に暴落せり

＝釜山＝

▲記念品贈呈　釜山輸入商組合は十一日午後六時より鳴戶本店にて新年宴會を開催し同組合員數十名出席し舊職同組合より退隱したる山本純一氏に記念品及び感謝狀を贈呈したり▲高瀨理事招待會　朝鮮銀行釜山支店にては同行幹部より東拓理事に轉じたる高瀨梅吉氏の來釜を機とし大池、迫間、河野、森、宮地、萩野の諸氏を陪賓とし十一日午後七時鳴門本店に於て晚餐會を催したり▲雜貨商新年宴會　釜山雜貨商組合にては十三日午後六時より芳千閣に於て新年宴會を開催したるが出席者は約三十名なりと▲金曜會宴會　釜山に於ける銀行會社の重なる人々に依りて組織せる金曜會は十三日夕より小倉庵に於て新年宴會を催したりと▲金物商新年會　釜山金物商組合にては十三日芳千閣に於て新年會を開催の筈▲府尹招待會　釜山府尹は十二日若松府尹、大池、迫間、香椎の四氏は元老たる[illegible]を開催の筈[illegible]▲福井縣人會　在住の福井縣人は十三日[illegible]新年宴會を催したり▲三重縣人會　同三重縣人は十三日午後五時より鳴戶本店にて[illegible]を開催したり▲佐賀縣人會　佐賀縣人會は[illegible]年宴會を催す▲在鄉軍人會　在鄉軍人會は來る十八日夜開花に於て[illegible]

◎安東縣より

▲國澤博士　滿鐵副總裁國澤工學博士は[illegible]十四日午後四時著列車にて來安午後八時十分發大連へ赴任す可し▲安東銀行總會　安東銀行にては十四日午後一時より公會堂に於て定時株主總會を開く筈なるが同行昨年下半期の成績は極めて良好にて[illegible]の配當を爲す由▲採金俱樂部競技　[illegible]木公司員を以て組織せる[illegible]にては十四日午前十時より[illegible]▲中野議長招宴　中野議長初太郎氏は十三日夜[illegible]學校職員等を太陽樓に招待し新年宴を催せり▲米國領事　在安東米國領事は十三日[illegible]出張せり

人事消息

△大塚要氏（工學博士）十三日夜入京[illegible]
△關洪洲伯　十三日夜大田より歸京
△秋山雅之介氏（法學博士）十四日[illegible]
△小川平吉氏（代議士）十四日朝[illegible]
△園木壹之助氏（大阪每日記者）[illegible]
△波多野貞吉氏[illegible]十四日朝入京南山[illegible]

お正月の思ひ出

—(八)名刺の置き放しは水臭い

◆京城で、二昔前のと まるで街の模様から違つてゐた

僕は此京城で十七八回のお正月を送つたり迎へたりしたので古いお正月のことも多少は知つて居る古いお正月の思ひ出ならば其當時の狀況を御話したらば自然と想像が付くであらう

◆今日の京城から 十七八年以前の京城を回想すると全く隔世の感がある京城は其時分公使館、領事館の役人と守備隊が二中隊位と有志家商人男女合せて日本人が千人近くも居つたであらうか本町筋など今では鮮人の家とては只の一軒も見當らないが今の本町二丁目から三丁目あたりで僅かに

◆點々と鮮人家屋の間に挾まつて居つた商店として名のあつたのは龜屋に辻屋に貴生堂と云ふ藥屋木島時計店岩下彌兵衛商店田中時計店、林田商店位であつたろうか其外南大門通りに和田常市氏の商店佐々正之氏の藥店などがあつた龜屋は今の場所にあつたが辻屋は當時壽町の入口の旭旅館の北角に白

◆ペンキ塗の何處かに能く見る理髪店のやうな其時分には一寸珍らしい可愛らしい洋館であつた其外漢城新報と云ふ新聞社が旭町二丁目の一寸這入つたところさ漢城病院が明治町に近藤病院が元化病院が今の所にあつた位で日の出の壽町の商業會議所のあつた所に小學校から大和町一帶老人亭に往くまでは僅かに

◆渓間渓間に筆洞とか墨洞とか云ふ小さな部落があつたばかりで皆畑や丘であつた總務總監部は勿論の事政務總監の官邸や大和町官舍や遞信局官舍などは或は山を或は丘を切り下げたり畑に土を盛つたりして道路の如きも幾度となく付け換て其時分の俤は到底も想像が出來ぬ老人亭の農商工部長官邸の敷地は元

◆藥水が巖間から 泉んで居つて水道もなく飲料水に苦んだ居留民はビール瓶や石油の空き罐を持つて飲みに出掛けたものだ郵便局の如きも今の處に出來たのはツーツと後のことで其當時は倭城臺の交番のスグ向ふの今は誰やらの官舍になつて居る角屋敷がそれであつた何しろ鐵道はなし商船會社と郵船會社の船が一週間か

◆都合によつては 十日目位に郵便物を持つて來る郵便局では高く日章旗を揭揚して郵便物の到着を一般の居留民に知らせるたづかしいと云へば其時分の郵便ほどなづかしかつたのは無かろうと思ふ配達を待つて居つては却々待ち切れないので皆郵便局に驅け付けては

◆郵便物や新聞を 受取つたものだそれに郵便が來て居らないやうなことがあらうものならそれこそ非常な落膽であつた十七八年以前の京城の有樣はザツとこんな鹽梅であつたから上下貴賤職業の如何に拘らず誠に親密なものであつた正月とか天長節とか其他軍旗祭だとかと云ふ樣に

◆何かある時分に は直に打集つて樂しく遊つて除けたものだ話が大分側道に這入つたが正月には外國使臣は公使館に拜賀の爲め轡を揃り一般在留民は領事館に拜賀の爲め集まつた領事館は今の京城府の建物其儘で領事は大禮服を着記生は燕尾服で一々出迎へては冷酒にスルメ蜜柑の御馳走があるそれから

◆陶然として各戶を廻つて大に飲み騷ぐと云ふ有樣で名刺交換會の如きは勿論名刺を只置いて來ることなども其時分では水臭いと云つた位であつた（某故老の談）

浮燈臺の行衞不明

群山港頭の大吹雪=滯穀十二萬石

九日夜來の大吹雪は沿岸各地の時化甚だしかりしが殊に群山港に於ては九日夜來より港內繫留の一般船舶の出入途絕し就中對岸忠南瀾堤間の渡船發動機盛航丸は九日午前十時

▲內地人學生 十名鮮人三十五名計四十五名の乘客を乘せ群山港を出航したるが中途にて雪時化又々加はり爲に二回まで引返したるが最後三回目の航行に風波の爲め船體は次第に稅關下に押し流され漸く汽船

▲錦丸の救助 に依り歸著せし狀態にて運航危險なるより一般船止めの注意を與へたるが前記盛航丸の乘客中內地人學生十名は同船員に割當て一夜を止宿せしめ鮮人三十五名は其々賃金を返還する事としたり尙引續き翌十日は風稍和ぎたるも

▲港內流氷甚 だしき爲め停泊船の出動不能にして海上の交通愈々途絕し同日午後四時過ぎより漸く各船の出動を見るに至り港內停滯米穀運航船の往來杜絕したる爲め九、十の兩日間に於て米穀十一萬八千五百七十三石雜穀七千百六十三石荏子三千五百十八石の運輸停滯の止む無きに及び又た港界外十餘海哩を距る沖合に設置の最も

▲大形浮燈臺 は七日夜の暴風の爲め狂波と共に押し流され行衞不明となりたれば一昨十一日午前より搜索船九重丸を出動せしめて搜査中なり（群山）

雪に閉られた六百名

救援決死隊組織

高知縣高岡郡檮原村にては大雪の爲め本撫柚等六百餘名饑餓に瀕せるより決死隊を組織して搜索に向へりと（大阪特電）

雪中に槍で猪、鹿を斃す

滋賀縣伊香郡木本柳ケ瀨間は十日夜來又復降雪あり十一日午前八時には八尺餘りに達し小學校は臨時休校し郵便物集配全く不能となり附近には雪に苦しめらるゝ猪、鹿群をなして來襲し村民は槍を提げて之を追跡し二十八頭を斃したり（大阪特電）

戶を叩けど返事なく女は

紅の死骸となりて

十日午前十一時頃濟南市街縣前街警察第九號居住の支那淫賣尹氏(三九)が何者にか慘殺され居るを同濟街の雜貨商天興福主人陳銀奎(五七)が發見縣前街日本警察官派出所に急報せしより安東署よりは板橋司法課長其他時を移さず出張取調に著手せるが被害者尹女は入口土間の次の寢室に充てる溫突にて左の顳顬のあたりを二箇所刺されたる上右の頰を耳元から口にかけ三箇所斬り付られ東を枕に右肩を下にして寢床の上に橫臥し無慘の死を遂げ居れるが豫て秘藏せし

▲貴重品入の小函 は殼となりて銅貨のみが遺たりに散亂し居るのみなりしより見れば物取りの所爲なるべく死體は引取人なき爲め檢視の上支那官憲に引渡したり被害者は江蘇省蘇州生れにて數年前より當地に住める者なるが春を賣る卑しき稼業ながらも行く老ひ先き案じて身を愼み前記の箇所に只獨り起居せしが小金を貯へ居る事を知りて色と慾とに通い來る男も尠からざりしと云ふ前記の發見者陳銀奎も被害者の馴染男の一人にて前日薪の無心を云はれしまゝ兇行のありし朝八時過ぎ店の小僧に薪若干を持せ遣したるに

▲寢室は戶締り固 く案內を乞へど尹女が出で來らぬまゝ尙就眠せるものかと小僧は其儘薪を入口の土間に置きて歸りしが軈て十一時頃陳が再び訪れしに返辭もなきに怪しみながら僅か細目に開ける戶の隙間より寢室を覗けば前記の始末なるより大いに驚きて屆出でたる次第なりと

盛んに漏水し四戶立退く

十二日午後三時半頃より京城授恩洞百六十二番地先附近埋沒の水道鐵管に故障を生じて盛に漏水し附近鮮屋四戶に浸水して床上に及び之が氷結したる爲め炊事及び起臥等に差支へて避難したり一週間前に水道係に屆出でたるも人夫不足の爲め未だ復舊工事に著手すること能はず尙漏水しつゝある爲め附近一帶の者は大困難を來し居れりと

かるた　京城女學校にて十四日午後二時

職工五千名の失職

先般來の寒氣にて大阪府下各煉瓦會社の煉瓦製造素地を悉く凍損せり日本にては煉瓦事業開始後の椿事にして府下の職工五千名は之が爲め失職せり（大阪特電）

聯隊旗手凍傷

平壤步兵第七十七聯隊旗手赤木少尉は過般陸軍始觀兵式の際所持の寒氣に聯隊旗捧持の左手に凍傷を受け去る十二日來入院治療中なりと云ふ（平壤）

御獵開始さる

雲ケ畑御獵は十三日より開始せしが獲物總計七頭なり（大阪特電）

米人ソ氏の奇特

京城鍾路六丁目七十二番地東大門婦人病院長米國人ソワツト氏は耶蘇信徒にして每年降誕祭には附近の貧困者救助の目的を以て金品を惠與するを例となしつゝあるが本年も亦一月六日附近の貧困者八十餘名を自宅に招じ朝鮮素麵、白木綿、鮮衣、裳、西洋襪服等を惠與せり

歌留多

樂しくさゞめいて

暖爐の火さへ溫かに、お孃樣方のお揃ひ

京城女學校一昨年の卒業生母校に懷しき同窓會南山京城高等女學校の卒業生同窓會は十四日の日曜午後一時半から開催、來會者は大正四年春三月の第七回卒業生竹の組の十七名、何れも十九歲から廿歲ばかりの

◆花恥かしき お孃樣ぞろひ、母校に宛てられた母校の北側第八教室の壁の敷いた廣間には暖爐火さへ溫かである、やがて桃割れ文金高島田の可愛らしい人からハイカラ櫛の一同お揃ひとなればお餅の板を卓子として上にはお菓子蜜柑などの御馳走がすゝめられ

◆お客樣席に は佐々木、宇留島、中家、島村、矢吹先生の諸席あり幹事側の遠藤、中村兩令孃から先生に何か御挨拶をとの申し出に宇留島先生が洋服のヅボンを窮屈さうにして『皆樣明けましてお芽出度う存じます』と頭を下げる、それから萬事むつかしい事は

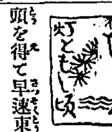
◆抜きにして 數々の御馳走が振舞はれなつかしき母校の思ひ出やさては佐々木先生、矢吹女先生などのおはなしもあつてお終に百人一首の歌カルタ會となつた、讀み役は眞面目な宇留島先生で佐々木先生の

◆お手附きが 尠なからず御愛嬌であつた、散會は午後四時半、戶外は木枯しの肩寒きに此處ばかりは溫かひ春のやうな賑はひであつた

殘してあつた草鞋から

嫉妬で大亂暴

平北博川郡北面元南洞朴昌杰(三二)は資產家の長男なるが昨年八月二十四日夜同洞徐炳一次男徐鍼總の草鞋が自宅に遺留しあるを發見し之れ必定同人が自己の妻と情を通じ其の發覺を恐れて愴惶逃げ歸りたる際忘失したるものならんと推考し憤慨の餘り同夜徐炳一方に暴れ込み大石を以て同家の大門を破壞して侵入し戶障子二十餘枚を叩き壞したる上家具二十餘點を滅茶々々に毀損して數十圓の損害を與へたるも尙慊らず二十五日午前八時頃同家の藁穀に放火したるも直ちに消止められたるより更に同日正午頃物置小屋に放火して其の一部を燒燬せしめたる爲め遂に檢擧せられ同年九月二十五日新義州支廳にて懲役五年の判決を受けたるが同人は之を不服とし平壤覆審法院に控訴し前判決を取消し懲役三年の宣告を受けたるが尙不服とし森辯護士を辯護人として高等法院に上告したるが同法院にては前判決を破棄し該事件を京城覆審法院の公判に附したり



▲京城の米國總領事ミラー氏は、時々銃を持つて地方へ出獵するが昨冬は野猪二頭を得て早速東京の米國大使館へ贈つた▲ゼラード大使は此の好下物を得て一席の宴を催し愛の總督今理寺內伯もその席に此の珍物を賞味されたさうな

◉主人の熱睡中掠奪ふ 京城益善洞劉用根(三二)は十二月二十九日本町四丁目の雜貨屋に奉公先より知合ひなる岡崎正吉を尋ねて春川地方に行きたるも邂逅せず爲めに春川府內面佳淵里新炭商前川孫作方に奉公し一月二日午前六時頃家人の熱睡中同家の現金七圓餘金側懷中時計其の他數點(六十圓)を竊取逃走したるも遂に加平憲兵分遣所の手に逮捕されたり

小汽船錦江の流氷に惱む

頃日の烈寒と大雪との爲め錦江の流氷は厚さ三寸乃至一尺に及び殆んど全江面を覆ひ盡し降り積りたる雪を載せて流るゝを以て小蒸汽和船は其壓力に辟易して機を計り僅かに遲々たる進行をなし得るに過ぎず橋樑の操りは尙四五日覺束なし（群山）

貧で跛の夫を嫌ひ

高陽郡漢芝面梨泰院金秀寅妻金寅榮(三五)は夫が傘修繕業にして外出勝なると殊に跛なるとを嫌ひ大正四年一月中同里の鄭基元(三六)方に至り居候をなし居れる內遂に私通したるが其後寅榮は病氣に罹りたるも秀寅は無一物にて其加療をなし能はざる爲めに情夫より六十餘圓を支出して總督府醫院にて治療せしめ全快退院後は殊に秀寅を棄てゝ基元と同棲するに至りたるより秀寅は大に立腹し本月六日其の現場を取押へて京城分隊漢江派遣所に告訴したるより兩名は取調べの上檢事局へ送られたり

六萬圓寄附

船成金山本唯三郎氏は同志社圖書館建設費として六萬圓を寄附せり（大阪特電）

●小大工の詐僞 …として渡し置きくれと金五十圓を同…の自轉車を盜出し其足にて該自轉車…突の煙突より出火したるも常備消防…

…三等(四十七名)…十三日午前九時十分釜山入港新羅丸…二等客

◉課題 讀者文藝 課題及び募集規定

◉募集規程 ▲用紙は端書又は同形の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲…

天氣は 北又は西の風晴れ（十五日午後六時より十六日午後六時迄）

貴紳間に高き稱讚の聲は

▽純國產 牛久赤白葡萄酒の 眞價を語りつゝあり!!

見よ——!

本邦生葡萄酒中の醇良品として上流社會の人氣を此一身に集め 忝くも宮內省の御用命を 蒙りつゝある本酒は

如斯二大特色あり

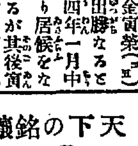
一 茨城縣牛久神谷葡萄園に移植したる佛國種優良生葡萄實より搾取したる儘の精良品也

二 本酒は純國產なるを以て舶來品の如く高價なる運賃關稅を要せず隨て價格頗る低廉也

賣捌所 東京日本橋 近藤利兵衛

開業 質 太平通二丁目五八（麗華園裏）本多質店

天下の銘釀



大正六年一月十日より 樽詰は第三回 壜詰は第二回目の 値揚げ實行仕候宜敷御諒承不相變御愛顧御用命被仰付度此段廣告致候也

第三回値段改正廣告 市況活躍は品の上下に不拘一般賣行增大急品物拂底を來し酒價併に附屬品日々昇騰の結果無止

釀造元 兵庫縣御影町 嘉納合名會社 電話三七番

特約店 京城本町 前田酒店 同本町 增田支店 仁川本町 中本酒店 同 田中酒店

新春の候各位益々御多祥之段大慶此事に奉存候客年中は特別の御愛顧御引立を蒙り誠に難有御禮申上候 却說本酒造場釀造清酒之儀御蔭を以て昨秋以來賣行未曾有の好況を呈し最早全部賣切と相成申候就ては昨冬以來之が補充酒買入方に付種々苦心選擇致候へ共何分御承知の如く內地酒好景氣の影響を受け各地共古酒拂底の折柄とて直段意外の高値なるのみならず酒質亦本釀造酒に比較不致到底御得意樣の御滿足を得る見込相立不申候間誠に遺憾ながら此際寧ろ本年度釀造酒の古酒として賣出し得らるゝ時期即ち來る三四月頃迄御注文に應兼候間其邊不惡御洞察御諒容被成下度尙改而賣出の際は審倍の御引立御注文伏而奉希上候先は右乍略儀以紙上清酒賣切此段稟告仕候也

清酒振天 双喜正宗 平生釀造元 ㊟ 仁川 金酒場 店主 吉金喜三郎 電話七六四番

都山流 尺八 音譜

音譜解說 三十錢 露の蝶 二十錢 紅葉の月 二十錢 三の景色

大阪 …町三丁目 前川合名會社

熱心誠實に事務を取扱ふ 辯護士 從五位 堀池常作 事務所 大邱府南龍岡町

奥様たち

賑つた婦人會 御自慢の隠し藝に

創立以來既に二十餘年を閲した京城婦人會の恒例新年初會は十三日午後二時より倭城臺同會事務所にて開催會員の奥様方

△二十餘名 の出席あつて幹事京口さだ子女史の會事報告を了り數々の御馳走を持ち出され和氣藹々たる懇會であつた、猶ほ餘興としては村上李王職事務官夫人及び佐々木法院長夫人の地謡に大和田女史の仕舞ありつゞいて峯尾夫人の

△長唄「鶴龜」及び「朧」を始め中村再造氏令嬢の箏曲「松の園生」の彈奏ありて何れもとり〳〵に見事なる出來榮であつた

悲惨なる一家

兒は病み、家は燒け、妻は狂ふ

高陽郡纛島面西纛島里居住の甲種東拓移民北岡巽造方より一月二日午後九時頃出火し居宅亞鉛板葺一棟及び

▲家財全部 を燒失し損害約五百五十圓を蒙り熟睡中の長女貞子(九)が燒死せしは既報の如くなるが是れのみならず同家は世にも稀なる悲惨な境遇を繰返しつゝある不運な家である主人巽造(三七)は本籍高知縣高岡郡戸波村生れで大正二年四月中家族全部を引纒め約三千圓許りの資産を以て纛島に移民として渡鮮したのである其後農事に精勵し拉々辛苦を積んで前途に稍光明を認めやうとする

▲矢先きに 妻の嘉惠(二九)は昨年春頃より病臥中の所種々加療した甲斐もなく前記長女の貞子(九)を初め長男泉水(六)次男俊夫(三)の三兒を遺して六月一日遂に死亡して終つた一家の慘状は傍の見る目も氣の毒の有様となり北岡は乳兒を初め三名の幼兒を抱ね如何にも手の附け樣がない破目に陷つたので後妻として現在の妻隅田いし(三八)を郷里から迎へた、同女は室に

▲情愛に富 んだ女で幼兒三名を産みの兒のやうに慈つて養育し一家は圓滿の裡に新年も目出度迎へたが、翌二日に至つて不意の災厄は又々突發して遂に前記の如き惨禍を見るに至つたので一家の悲嘆は想像の餘りである今は著のみ著の儘の姿となり昨今の極寒中に起臥する家さへ無くて相擁して顫へゐるが不幸は猶も重なつて次男の俊夫は

▲急性肺炎 の爲め本月十一日遂に死亡した斯うした不幸續きに酷く心を痛めた妻のいしは女心の物思ひに稍精神に異状を來したものか翌十二日の午前五時頃平常著の儘無斷家出した、北岡は直ちに其旨憲兵所に願出でて手配捜索し辛つと所在が判明し荒れ狂ふのを連れ歸つて目下靜養中であるが殘る一人の長男泉水(六)も麻疹の氣味で目下臥床中であるといふが悲惨極る同家を幾分なり

▲慰藉して やらうと京城分隊纛島派遣所員は目下同地居住の東拓出張所員、模範場、郵便所勤務の人々と共に其の方法に就てより〳〵協議中であると

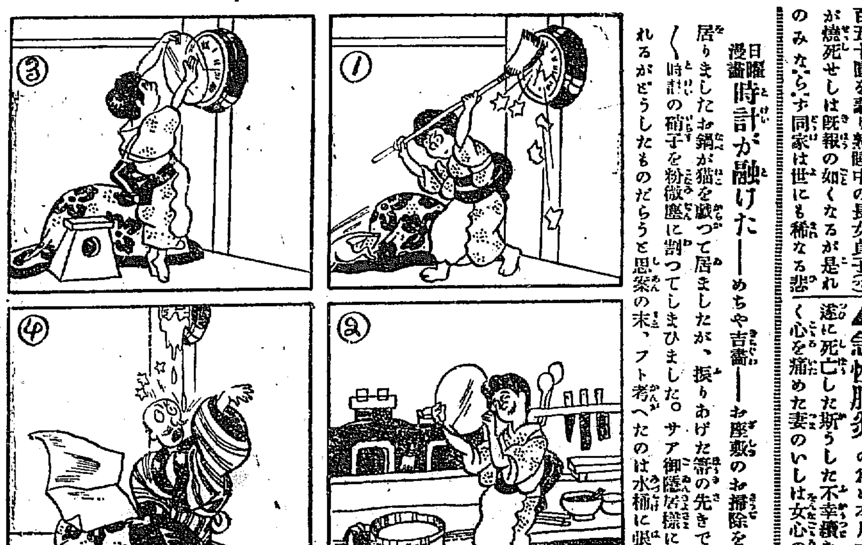
無門會開講

無門會は十三日午後四時より京城商業會議所樓上に開催せり樓上には當日提唱の大燈國師上元上堂に因める無佛社長秘藏の仙崖書題の龍彈吹燭の書を掲げ來會者の重なる人は城覆審法院長、小原農商工部長官、久總督府醫院長、中村同院檢事長、芳賀外事課長、森安久保兩醫學博士、山形大佐、中野警務官、西村第一銀行支店長、遠山農銀支配人、本宿善隣商業學校長、牧山朝鮮公論社長三島鮮銀理事母堂及び無佛本社長其他六十餘名の聽講者あり後藤瑞巖老師は黑の質粗なる法衣に葡萄色の袈裟を掛け侍者を從へて出頭至極嚴肅の裡に提唱を終りたるは午後五時二十分頃なりき

日曜漫畫 時計が融けた

めちや吉畫

お座敷のお掃除をして居りましたお鍋が猫を戯つて居ましたが、振りあげた箒の先きでとう〳〵時計の硝子を粉微塵に割つてしまひました。サア御隱居様に叱られるがどうしたものだらうと思案の末、フト考へたのは水桶に張つた氷、そつともつて來て見るとお誂へ向きの大きさなので細工はリユー〳〵仕上げを御覧じと氷を時計に嵌め込んで知らぬ顔をして居ましたそんな事とは知らぬ隠居爺さん、炬燵に獅嚙み付いて居る首筋へ氷の硝子が融け込んで、落つたのでサア大變『時計が融けた……』と吃驚しました



仁川商業雪行軍

仁川商業專修學校にては十三日午前十時半より全校生徒及び職員百三十名の雪中行軍を行ひたり行程は豫定の時刻に學校を發足朱宅を經て官廳里に到りたるが途中水田に於てスケートの練習をなし更に氷雪餅の如く凍結したる谷を越ゆ山を攀ぢ正午頃蒼仁川府背後の山頂に雪を布いて晝飯を喫し更に山を降つて約三里半餘の雪山氷田を踏破して午後三時頃歸校したり(仁川)

西鮮寒氣來襲

十二日頃より寒氣稍衰へたる原因は支那蒙古方面の高氣壓漸次南下したると一面黄海及び揚子江附近に低氣壓現はれたるによるものにして十二日は西鮮地方晴天にし氣温氷點下十二度を示し四五日前の寒氣を一掃したるかの如くなるも該低氣壓が鮮半島をパッスすると同時に又々元の如く烈風加はり寒氣は愈々酷烈を極め氣温は氷點下二十四五度に低下すべしと云ふ

神社とお寺と教會

○國柱會京城局（初音町）十五日午後七時より定例修行後伊東講師の『如說修行鈔』講話有り

○京城基督教會（南米倉町）十四日午前九時半より日曜學校午前十時半より朝拜說教『神を畏るゝの幸福』渡瀨牧師の說教ありたり猶ほ午後七時半より夕拜說教『落伍と人生』同牧師

子を持つ親の用心

▲幼兒の風邪に就て注意の事

▲幼兒の風邪の時季 これからは風邪の時季、殊に未だ皮膚の充分壯健になつてゐない幼兒の風邪に罹り易い時季であります。此處に幼兒といふのは滿七歲までの小供をいふのですが然う言つた幼兒達は兎角風邪に罹り易い。勿論平生から餘り大事にし過ぎて例へば無暗に厚着をさせたり寒い風に當てない樣な事をしては却つて小供の皮膚の抵抗力を弱くするばかりでありますが然りとて風邪に罹つた以上には親御達は殊に母親方はよく〳〵注意して幼兒に適切な方法を執ないと風邪が因で取返の著ぬ事になる場合があります

▲幼兒には幼兒專門 一體幼兒は未だ體の組織が充分に發達し固つてゐない。即ち體の工合が大人とは勿論少年とも違つてゐるのですから同じ養生といつても又違ふ所がある。お醫者にも小兒科がある如く藥にも矢張小兒藥があるべきなのに從來は幼兒の風邪といつても一概に大人用の藥を分量を減して服ましたものですが是では決して適切でない。且危險もあります。幼兒の風邪には幼兒專門風邪ねつ藥オインが最も適切です

▲安全第一の小兒藥 オインは小兒科專門の醫學士山口六郎先生の苦心研究に成つた最新處方で稻垣醫學士が實驗證明せられ内田藥學士の監査の下に丹平商會製藥場の專門技師達が嚴重に調製した藥で飽迄も幼兒向といふ事を念頭に置いた藥ですから七歲以下の幼兒には實に適切な此上の無い風邪ねつ藥であります。第一風邪ねつ藥には副作用といつて體の他の部分へ害を及す事例へば熱を下げるには宜いが胃を惡くする事があるといふ樣な事があるものですがオインには然いつた副作用が絕對に無いから安心して用ひられる。それからオインは最新式の藥で舊來の虫下しや一時の氣休め藥では無く現時の藥學上効力の最も秘と認められる高貴藥を撰んで用ひてあるから少量で非常によく迅速に効が現れるそれに藥に苦味が少いから小兒には極めて服用し易い。實際オインの七歲以下の小兒の風邪ねつをさましてすつかり快くする効は見る〳〵中でありますから心ある母親方は常にオインを家庭に備へてありますが、これからは特に其必要があります。風邪は萬病の因うつかりすると飛だ事になります。オインの藥價は十錢卅錢。本舗は大人用かぜねつ藥として最も有名な印アンチピリン丸製劑元大阪心齋橋東京箔屋町の丹平商會で全國海外の各藥店に取次販賣して居ります。

▣アンチピリン丸藥價は十錢、二十錢、卅錢、五十錢[illegible]

演藝案内

壽座 京城壽町 電話五七八番

一月十四日第七回替り藝題 前 一條大藏物語 大序より菊畑迄 中 梅川忠兵衞 ようりんきり 切 近江源氏 八ツ目盛綱首實檢の段

階上階下へストブ五本設備致候間場内は極々あたゝかです何分御安心の上御來場願上候

御成座 御成町 電話二九一

●十一日目藝題 ▲一番目『玉菊燈籠』全八場 ▲二番目喜劇『二丁ところ』一場

大工三太(天野)下女お作(里見)彌吉の父(白根)大工(今村)大工(左門)太夫玉蘭(平松)大工留吉(今村)大工次郎(花井)村長吉右衞門(河瀬)田舍紳士(木村)大工佳吉(川上)光源寺(茶坊主)(田中)源兵(沖田)光源寺熊(藤原)大工彌吉(淺川)仲居小菊(中田)大工三郎(小役)村井(大工)殊樂敏衞門(日野)

稻荷座 本町五丁目

十三日の讀物 新作講談 演者 讀物 (續) 義烈百傑(竹川一夫)○維新戰爭餘聞(竹川九洲男)○いかるが平治(廣澤)○梅山大佐(京山光若丸)○廣澤柳生旅日記(藤川条春)○名作左五郎○吉原百人斬(佐野治良左衞門)(親友派)○若手花形竹川馬生一

浪花館 明治町 電話二六〇

△東京落語柳連雷門助六一行

△一月一日より毎夜五時開演仕候

△演藝目△落語(雷門助丸)△落語(雷門ぼたん)△落語(雷門市六)△松助)△落語手踊(雷門小松)△落語(雷門助三)△普曲手踊(雷門助三郎)△落語(雷門助三)△天下一品飛行の大曲(雷門助三郎)△落語手踊(雷門助六)[illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三

[illegible]

黃金館 早川直營 電話二六三七

[illegible]

リウマチス特効新藥

＝化學式製劑＝サルビン＝

藥化學の進歩せる學理を應用し治療上の實見を重ね完成を告げたるリウマチス新藥にして病毒に對し特殊なる驅除力を有し毒素を分解すと共に其効力は最も偉大なり

▣ハガキにて申込め詳細なる說明書即時無料送呈す

東京向島小梅町 東京藥化學研究所

身を切るような此頃の寒い風

婦人には冷えるのが何よりも毒

病氣の人も健康の方も

朝は働く前に

夜は寢る前に

命の母を召し上つて

身體を心から温められよ！

●白帶下なが血に苦しむ人
●脚腰冷えて頭痛する人
●子宮病にて下腹の痛む人
●逆上にて背肩のこる人
●ヒステリー血の道の人
●月經滯り或は不順の人
●つわり又は流産に苦む人
●産後の肥立ちあしき人
●手足冷え安眠の出來ぬ人
●姙娠して安産を望む人
●弱き婦人子なき人は明日と云はず今日試みられよ

藥價 試用分十錢 一週分八十錢 二日分廿五錢 二週分一圓半 五日分六十錢 五週分三圓

加減藥、命の母約二割増

買全國信用藥店販賣す方なくば本舗へ

婦人藥 命の母 本舗

東京京橋新榮町四ノ一 電話京橋二二〇一 振替東京五〇五〇

笹岡省三藥房

婦人病の人は是非讀まれよ

北島、佐藤、四谷三醫學士共著

婦人病者心得目次

月經不順の治療法
經の閉止 月經の閉止 月經過多 月經困難
子宮諸病の治療法
子宮内膜炎 子宮外膜炎 子宮實質炎 子宮周圍炎 子宮周圍腺炎 子宮癌
不姙原因療法及受胎の心得
陰部炎症 不姙症の治療法 受胎に就ての心得
産前産後の攝生法
姙娠を知る法 姙娠の攝生法 産後の攝生法 流産の原因及療法
ヒステリー(血の道)の治療法
ヒステリーの原因其の病狀と治療法
婦人諸病療法
帶下 頭痛及其養生法 女子の淋疾 消渴の發生 貧血症

上掲「婦人病者の心得」は葉書にて御申込あり次第無代進上いたします

髮をしなやかに

丈長がく

美しく房々と

黑くすうは

漆のやうに

廣い世界に

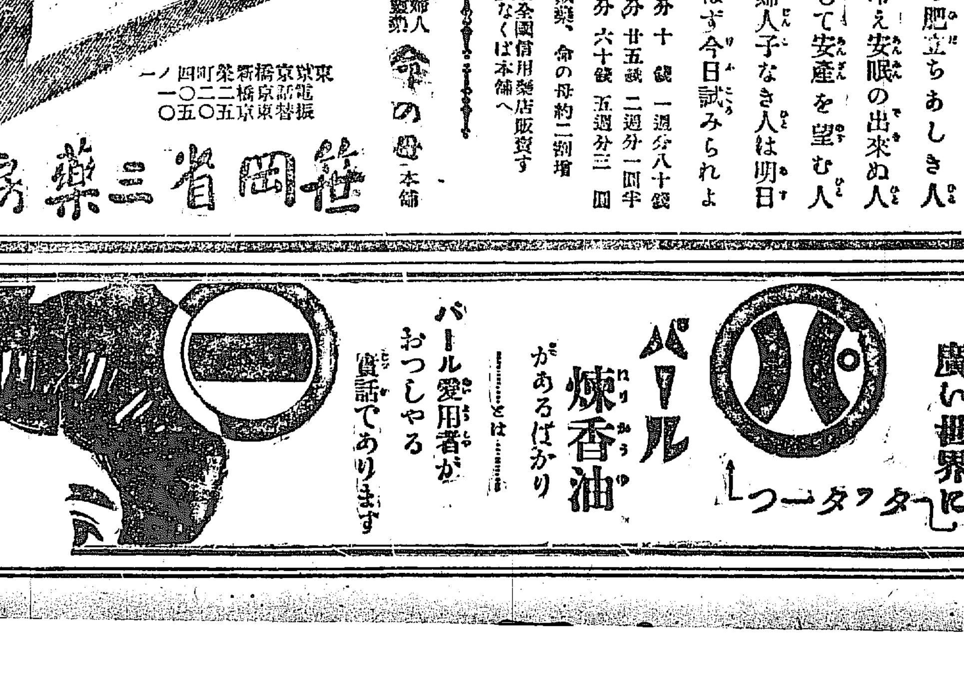
「ーつタフター」

パール煉香油

があるばかり

……とは……

パール愛用者がおつしやる實話であります



本舗 東京 平尾銑也商店

西代理店 大阪 平尾贊平支店

[illegible]十月二十日平壤[illegible]粟中平岩造方大工棟梁宮崎[illegible]平方に至り和田組の店員の如く裝ひ中平より和田組に仕拂ふべき受負金の内金[illegible]倒し逃走し十六日平壤府磚九里金自轉車店に於て一圓六十錢にて自轉車を賃借する約束をなし價格三十圓餘り[illegible]京城[illegible]光化門通一九宋淳億方の温[illegible]から十二日午後零時五十分[illegible]法院檢事局へ送らる

[illegible]樹庭、小野清一、木村又三、鈴木[illegible]子、笠松民三郎、同[illegible]、中村[illegible]、山田[illegible]、平川[illegible]郎、同さと、藤沼武男、野村[illegible]、上村[illegible]、[illegible]太郎

[illegible]消一、山口彌三郎、同秋吉、同榮之助、[illegible]吉、同ひさを、伊藤[illegible]、土井[illegible]、同銀[illegible]宏子、阿川甲一、永久[illegible]、大橋鐵之介、吉川安[illegible]外人一名、三等[illegible]五十四名)

△[illegible]時計とかけて」[illegible] 十八日 同 十九日
△一口噺「其時々の事に就て」同 十九日 同 二十日
△下旬付「大あくび」同 二十日 同 廿一日
△詠めぬ迫て出題

[illegible]通告者には五十錢書籍券を呈す(但し何書何號と明記に限る▲宛名は京城日報編輯局讀者文藝係)

[illegible]京城[illegible]測候所 前日中最低温度 [illegible]三十六度三分 [illegible]二度四分 [illegible]二十三度四分 [illegible]二十四度八分

[illegible]半夏生 [illegible]日 七月二日 [illegible]被岸 [illegible]二百十日 九月一日 [illegible]三月十七日 [illegible]九月廿三日

明君道中記
第二十九席
田邊南龍口演

松平上總介といふ方は我儘氣隨の人で萬事家康公の御意に叶ひません、慶長の七年下總國印旛郡佐倉に御住居になりました、其後川中島にお移り遊ばし慶長十九年冬の戰ひに江戸の御留守居をお勸めになり、其の翌年高田へお歸りになつた、處が元和の元年關東關西再びお手切れとなつて諸國の軍勢大阪へ取詰まする乃で上總介忠輝公も越後高田を御出發に相成り、御同勢は二萬餘人總白の御旗廿餘旒を押立て金繰半月の纏を押立まして、先陣は溝口伯耆守信勝、二陣は村上周防守義秋、御旗下は林平之丞金井主水玉蟲對馬守なぞといふ面々、一鼓六足の調子を揃へ武者押でございます、只今とは違ひ元和の昔日本流の武者押しは、ドーンと一ッ太鼓を拍つと六足づゝ進みまする軍法でお乘込に相成り、已に江州森山の宿觀杜觀音堂の松並木まで繰込んで參りました、此時黑糸縅の鎧同じ毛の兜を頂いたる德川家の御使番先陣の溝口伯耆守二陣の村上周防守の間を乘切りました、是を見て上總介忠輝公以ての外憤り「忠我が陣前を乘切られるとは幸先が惡い、彼の者は何者であるか早々馬より引御して取調べまする樣」と玆で早速取押へ尋ねまするに將軍家の御使先至急の用で陣前を乘切つた德川家の旗下長坂三郎太郎と申す者でござると聞いて、上總介忠輝公益々怒り「忠幸先惡いによつて越後高田へ歸國いたすから押し太鼓を越後高田へ向けて拍て」と云ふ折角此の森山まで乘込になつて越後の高田へ引返した節は忽ち御家にかゝはる大事に相成ります、乃で溝口伯耆守が段々御意見をして長坂三郎太郎は御一門のお爲と云ふ口實の下にとう〳〵切腹させてしまつた、其の首を御覧に入れましたるから漸う御機嫌が直つて京都へ參りますと大和口の總大將を上總介殿へ仰付られまして御發向に相成り、元和元年五月五日名代の道明寺河原の戰續いて八尾若江の戰の時はとう〳〵間に合ずにしまつた、仕方がございませんから遠明山といふ處へ本營を立て、先手の兵は石川河原に備を立て拔方の兵は早く引揚げてしまつたから刄に血を染ると云ふこともございません、遂に大阪の落城に越後殿は首一つもお取りなさらぬ、戰終つて後茶臼山の御本陣へ參つて家康公へお目通りをいたしました、家康公は御覧なされたが何とも仰せられません、更に知らん顏をして居られるから本多上野介本「恐れながら越後殿御機嫌伺に出ましてございまする、上總介殿お目通りをいたしまする」と二度も三度も繰返して申し上げました、其時に家康公始めて忠輝公を御覧なされて家「猶々其方は白痴た奴だ、左樣な者は家康の子では無い、其方は德川の一門とは云へぬ」と仰せられまして其儘席をお立ち遊ばす、上總介殿大きに面目を失ひそこ〳〵に立つて御陣中へお歸りになり、御家來方へ其の話しをなさる、さア越後家の御家來も悉く心痛いたしたが如何ともいたし方が無い、乃で大阪を陣拂ひに相成つて京都へお引揚げになり家康公秀忠公親子打揃つて參内を遊ばし、天下平定いたした趣を奏聞を爲やうと云ふ今日を晴れの參内でございますから、御家門方に於ても皆御供をいたし上總介殿も供奉の行列に加はつて居りますが、先達のお言葉が何うも忠輝公御意に叶はない、餘りと云へば父上が情けなきお言葉を内々腹を立て居らせられますから病氣と云つて當日はお供をいたしません、それなれば引籠つて神妙にして居らせられゝば宜いに、態と面倒がましく大勢の家來をお伴れ遊ばし嵯峨野の邊へ鷹狩にお立出になりました、德川家の御役人方も是を聞いて以ての外のことに思つて居ると、兩三日經つて無斷にて京都を引拂ひ越後高田へ引揚げてしまひました、

花柳病 皮膚病 須古醫院 京城府永樂町一丁目商品陳列館通坂の上 電話二一〇二番

書画用 絖畫絹 京染呉服商 たまや出張店 京城永樂町 電話一九六番

外科一般 泌尿器科 花柳病科 皮膚科 院長 安部修三 京城永樂町二丁目金光敎會隣 安部醫院 電話四一九番

一月十六日 九星 舊十二月廿三日 戊午 赤命 一白 北 取 佛滅

▲一白 だまかし主義の事有る日新事見合 西方は吉 喧嘩北▲二黑 先込に來る事有る日新事手拵後事は吉 保證連帶等み愼む▲三碧 味よき日 轉居旅行入學名亜家作求 婚姻話 醸造業等萬吉▲四綠 浄なる日轉居開業拵 錦求 職命件 緣話▲五黃 醫味論の事有る日 新事手拵後事は吉 野物に用心せらるへし▲六白 慶賀の日轉居開業等皆吉 女子は思はぬ幸福を得る大吉の日也▲七赤 順潮の日 轉居旅行入學名出 命件 求職 婚姻 船旅等萬吉▲八白 化粧具き事有る日 新事手拵後事は吉 婦人は約束を忌む▲九紫 不自然な事多き日 新事手拵後事は吉 衛生に注意せらるべし

夫人訪問記(二)
新婚第一の「初春」を迎へて

■思へば懐かしい■

去歳の霜月當家に嫁入りして參りました當時の私は、まだその年の春漸と女學校を出たばかりで年も二九の十八、ほんとうにねんねでしたから、何事も夢の樣な氣がしてたゞ最う嬉しいやら嬉しいやらで胸がいつぱい。そんな譯で新婚當時の感想等と云ふものはとんとありません、がそれも束の間の樂しかつた新婚旅行の思ひ出だけは深く胸に秘めて居ります。オホヽヽお笑ひになつては嫌ですわ。

■新婚旅行の途に■

上りましたのは恰度紅葉が眞盛りの十一月始めでした。行先は最初熱海か伊東あたりと豫定つてゐたのですが、いよ〳〵となつて急に京見物と變つたのです。それは私が豫ねての望みであつたのを夫が知つて今更**京見物**に變更して下さつたので、私はもう嬉しくて嬉しくて……早速夫同樣出立の用意に取り蒐りましたがお化粧は私は平常からホーカー液を使つておりましたお蔭で

■日焼ではありませんが■

肌の色艶だけは人に負ないつもりですし又實際私ばかりでなく平常から心掛けて湯上りや洗面を使つた後でホーカー液を使つてゐる方の皮膚は何處か垢ヌケがしてゐてキメが細いばかりでなく、いざ外出のお化粧となると平常肌の生地が調へられてゐますから白粉が自然の白さに塗るのです。然も白粉が決して斑になりません。さて其日私がお化粧を濟してから夫が髭を剃てゐるのを見ますと

■不思議な事には■

夫までが髭剃の後でホーカー液を使つてゐるぢやありませんか。私は始め「夫は隨分おしやれ」だ位に思つてゐましたが案に相違して、その後ホーカー液は**男子間**にも多く賞用され殊に髭剃後に用て大に肌膚や剃刀マケを防ぐものだと知て大變力強く思ひました。それから豫定通り私等の新婚旅行も終りに近きやがて樂しく我家へ歸つて參りましたが

■今に忘られないのは■

旅先の宿舍に私等二人の鏡臺の上には必ずホーカー液とホーカー白粉が置れてあつた事と京の加茂川の水が如何にも滑らかであつた事です。その美しさにも増して私等はます〳〵ホーカー化粧品を愛用する考へです。

—某實業家夫人談—

▲美味なる▼ 蟲下し 最良藥 定價五錢●十錢●廿錢●五十錢

岩崎大海堂セメンソ菓子 美味なる 蟲下し最良藥 本舗 岩崎大海堂

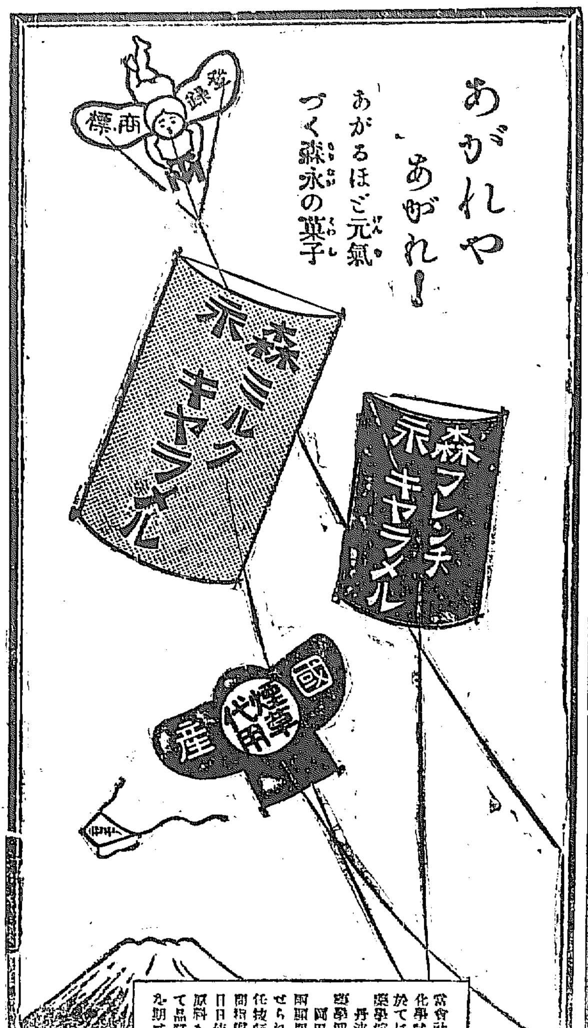
主治効能 蛔虫諸症、癇の虫、蟲熱、夜なきの虫、乳あまし、虫腹いたみ、疳熱の虫、虫胸あしく、勞熱の虫、虫せき、驚風の虫

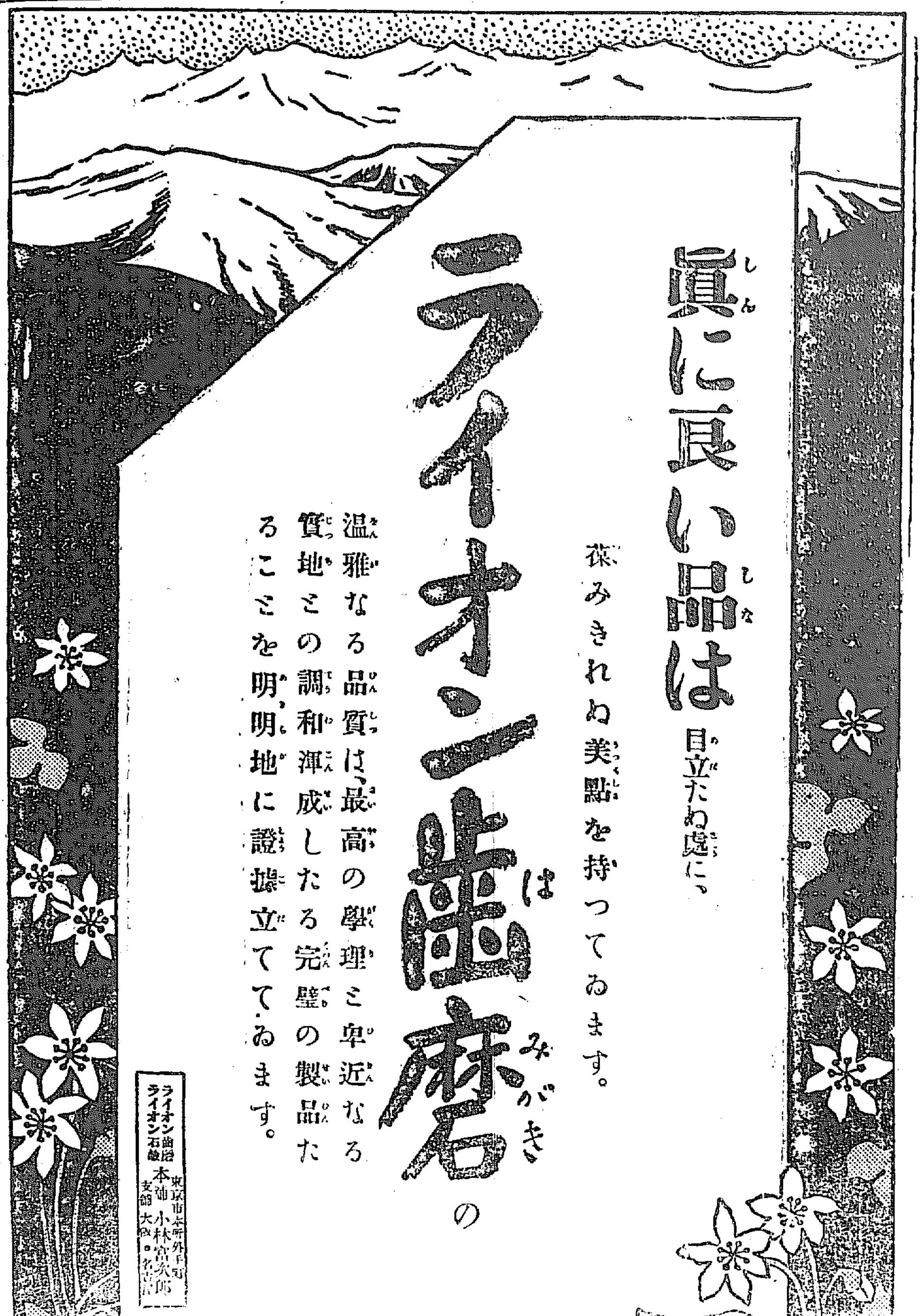
近來粗惡なるにせもの續出す鳥居商標と岩崎大海堂に御注意を乞ふ ▲廿錢のは卅二錢分入りで徳用よく常用と進物に妙です

▲山縣五十雄 村上唯吉共著 富の道しるべ 價十五錢 郵税二錢 京城太平通 京城日報社代理部

りん病 消渇で困る方 多年の慢性も 自宅で安全秘密に治す良藥あり切手三錢送れ其良藥の詳細を敎ゆ 名古屋市南かじや町 武藤亀吉

流經新藥レスノリン 月經 閉止經過四五ヶ月以内ニ應用ノ目的ヲ達ス他藥ニ優越ス 共流經作用ナル確證 價一瓶一圓送費内地十二錢海外卅錢切手代用一割増 說明書三錢切手添申越進呈 振替大阪六六三〇番 大阪北區曾根崎上一丁目三六地 發行所 常盤藥院





京城日報

一月十五日 (夕刊と合せて八頁)

第一版

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金[illegible] [illegible]
廣告料 ▲五號活字十六字詰一行金[illegible] ▲二號活字[illegible] ▲三號活字[illegible]
發行兼編輯人 [illegible]田直[illegible] 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社 電話番號 [illegible]

[illegible]會に臨み左の如き演說を爲せり[illegible]
[illegible]交戰國が戰時通商貿易促進の爲に擬[illegible]

▲補助金を與へ 交戰時中並に戰後十箇年に亙り濠洲の亞鉛鑛を買取る可き手[illegible]を以て英露商業會[illegible]を促進するの[illegible]

[illegible]も私見に據れば歐洲各國とも戰後は[illegible]復興中は從來個人又は法人に依りて經營されたる幾多の事業を官營に移して[illegible]は恐らく戰後益々發達するならん而して幷は必ずや米國將來の產業界並に市場に多大の影響を與へん[illegible]て米國に注文しつゝありしが此方法[illegible]

[illegible]外國貿易を左右し必要缺くべからざる[illegible]時機に重要視するに至り[illegible]に於て巨額の穀物及棉花の收穫を見たるも適當なる輸出に依りて域內に於ける價格を[illegible]

[illegible]となれば手廣く外國貿易を營みつゝある商人は內地不況の時と雖も外國の注文に依り業務を持續するを得可ければ也此の事たる今次の戰爭の明[illegible]

客月國境新義州出入貨物[illegible]萬九千三百四[illegible]圓にして前年同期に比し九千五百九十一圓を增加せるが殆んど全部生牛にして三百二十七頭一萬九千二百十八圓を算せり而し[illegible]輸入禁止[illegible]されたる[illegible]原因[illegible]尚ほ輸入は九百三十圓を算し前年に比し六百十一圓を增加せるが精粟生馬大豆[illegible]

宗教と教育の分離

山縣五十雄

過日の本紙に、南美以教會派の外國宣教師が今回其經營管理する諸學校に於て宗教と教育とを分離し、學校に於て宗教を教へざる事を議決したる旨報じてあつた。此事たる朝鮮の宗教と教育との問題につきては重大の關係ある次第なるが、惜い哉其報道餘りに簡短に過ぎたるを以て、一般の讀者は多く注意を拂はず、又よく了解せざりしが如く思はる。余は此事につき多少知る所あり。故に余をして詳細に說明せしめよ。

人も知る如く、基督教は朝鮮に於て數萬の信者を有し、外國宣教師は慈善教育等の事業に多く關係して居る。殊に教育事業にありては、併合以前に於ては殆ど宣教師の獨占とも言ふ事が出來る程であつて、其經營にかゝる大小の私立學校の數は今猶且官公立の學校の數より多い程である。此等の學校は宣教師が近世の科學を鮮人間に普及せしむる目的を以て設立したるは勿論なれど、同時に基督教を擴布するの機關であるは多言を待たず。故に此等の學校に於て宗教は其教課目の重要なるものである。然るに朝鮮が帝國の一部となりたる今日、宗教と教育とがかく混淆せられつゝある事は、國家教育上等閑に附すべからざる事なるを以て、朝鮮總督府は先年朝鮮教育令を發布し、師範學校の如き特殊の學校を除き其他の私立學校に於て宗教を教ゆべからざる事を規定した。然し既に存在せる宗教學校は急速に其組織を改むるの不便あるべきを慮り、此等の學校に關し、總督府に於ては該令發布以後十年内にこれに準據して改革を行ふて可なる旨を發表した。

此新令は多くの宣教師を青天の霹靂の如く驚かした。彼等は思へらく、學校に於て宗教を教ゆることが出來ぬとなれば、彼等の經營せる學校は其存在の最大の理由を失ふことになる。そこで彼等の中には寧ろ學校を閉鎖するに如かずとさへ激語するものさへあつて、反對の聲は甚だ高かつた。然し十年の猶豫期間のあることて、其うちには何とかならんとの考へから、表面に於ては餘り強硬なる反對の態度を執らなかつたが、然し裏面に於ては或は曖昧に、或は交涉に少なからず當局者を惱ましたのであつた。然るに北美以派の監督ハリス博士は其明達卓越の見識を以て斷然同派に屬する京城の培材學堂の組織及び教課を改革し、朝鮮教育令に準據して、之を高等普通學校となし、宗教教育を施さぬことにした。之を以て他の宣教師は愕然たるものありしは勿論、中にはハリス博士の處置に對し、反對批難の聲を立たる者もあつた。斯の如くにして培材學堂は久しく朝鮮教育令に準據する唯一の基督教主義の私立學校として孤立し、他の宗派に屬する私立學校は依然其舊態を改むる事をなさゞりしが、時運は今回南美以派の宣教師をして其經營に係る諸學校を培材學校の例に倣ひ改革する事を議決せしめたのである。

其議に至りしは、同派の有力なる宣教師クラム、ワッソン、ハーヂー等の諸氏が、朝鮮教育令の主旨のある所を了解し、該令の目的の決して基督教を排斥するにあるに非ず。一に帝國の國民教育を統一するにあるを察したる結果、南美以派の諸學校は速に該令に準據すべく改革すべしと主唱したに始まり、昨臘京城に於て同派の宣教師の大會が開かれた時に此問題が提出せられた。恰も此時米國より同派の代表者としてベンネット、ヘッド兩女史が東洋に於ける傳道事業を視察する爲めに來合はして、此大會に參加し、其際學校改革の說に賛成なる旨を明言した。其上に此派に屬する朝鮮信者の有力者、尹致昊、梁柱三の如き人々が同じく贊成なるより、多少反對の聲は擧りしも遂に採用せらるゝこととなつたのである。かく朝鮮に於ては議決したれど、其議決は米國に於ける傳道本部の認可を受けた後ならでは之を實行する事が出來ぬ。而して傳道本部が大會を開くは來五月で、其際此改革案が提出される筈である。然し本部に於て之を認可すべきは確かなれば同派に屬する開城の韓英書院其他の諸學校は今より準備を整へ置き、本部の認可あり次第、直に改革を實行する筈である。

右の如き事情で、久しく當局者を惱ましたる朝鮮の基督教私立學校の改革問題は漸く落著を見んとしつゝある次第で、誠に慶賀の至りである。思ふに今回南美以派宣教師の執りたる處置は、長老派其他の宗派の宣教師を覺醒し、彼等をして彼等の學校を同じく改革するの急務なるを悟らしむるであらう。若し彼等にして今猶ほ悟り得ず、改革を躊躇するならば彼等の學校は次第に衰頽するの他はあるまい。朝鮮は日進月歩して凡ての事物狀態は急速に變化しつゝある。此故に朝鮮の青年男女の教育は新時代に適應すべく、又彼等が帝國臣民として立派に立ち行くことが出來るやう施さねばならぬ。朝鮮教育令は正しく此教育を施すべく、制定せられたものである。然るが故に、此法令に準據せざる諸學校は時代に後れにして、其生徒も卒業生も將來社會に出でゝ位置を得、職に就かんとするに當り、種々の不便を感ずるであらう。從て斯の如き學校に入學を志す者は次第に減ずべきは火を見るよりも明白である。元來教場内に於て宗教を教へねば宗教擴布の目的が達せられぬと思ふは甚だ淺薄なる考である。何に宗教を教ゆるも、教師に熱誠なく、人格に於て缺ぐる所あらば、効果は殆ど見る事が出來ぬ。これに反して生徒が信服し、敬服する教師が教ゆるならば、生徒は其感化を受けて、其教師の信ずる所を信ずるに至るのである。要は教ゆる所の人に在りて、教ゆる所の物に無い。基督教の主義に立ち、教師は皆基督教徒で、學校内に雰圍氣が基督教的であれば、此處に學ぶ生徒は早晩感化されて基督教に歸依するであらう。長老派其他の宗派の宣教師は速に此明白なる理由を了解し、其經營に係る諸學校の改革を一日も速に斷行する事が賢なる處置である。

「大正の青年」と帝國の前途を讀む (十六)

十二月十二日上海に於て 大谷光瑞

高等普通教育、素より無るべからず、高等專門の豫備教育、又無るべからず。今之を二分せんか、二者共に用をなす。普通とは、廣にして淺なり、專門とは、狹にして深なり、二者をして合せんか、廣にして深なる能はず、其多くは淺にして狹なり、而して兩分せんか、二者各全學年の中、一年を減ずるは容易なり。高等普通教育とせば、今日の如く英語に全學科の四分一の時間を投ぜざるも可なり。英語の如きは、郷土に用なし、唯歐洲語として、聊か其一斑を知れば可なり、何ぞ沒頭するの要あらんや、英語を減廢するのみにして、既に五年を四年に短縮するは容易なり、故に一年を短縮するは、殆ど論ずるの要なし、而して組織を改め、農村に適する學科を授け、質樸健全の美を養はゞ、[illegible]して待つべく、英語及び專門豫備教育の學科を減廢せば、經費從つて減じ、一年を短縮すると相待て、現在と同一の經費の下に、更に普及の實を擧ぐるに足るべく、農村の子弟をして、都市に出づるの惡風を杜塞すべし。都市は多くは工商なり、工商は寧ろ專門教育を可とす、專門に二あり、高と低と分つと雖も、兩つながら要あり、故に主として高等專門の豫備教育は、都市に存する專門學校に附屬せしめば可なり、其の便之に分つに比し多大なり、而して專門に要なき學科を減廢せば、一年の短縮又容易なるをす。高等專門教育中一年を減ずるは、其法宜しきを得ざれば、著しく學力を低下すと雖も、豫備教育に一年を減ずるは、決して學力を低下せず。是れ無用を廢する者にして、有用を減ずると非ざるなり。[illegible]

[illegible]の弊は、殆ど全國に渉り、中等教育を受くる者に來らんとす、是今日の中等教育以上は、皆徵兵猶豫の恩典あり、故に之を利用し、終に忌避を僥倖せんとす。本年當局者は、案を具し、之が改正を圖らんとすと聞く、良策あらば幸なり。是實に國家の不祥なり。縱令先生も各師管の報告を列擧し、其害に論及し、反省を促せり。兵役の勢は、坐食するに比し甚し、加ふるに服從規律の嚴なるは、多年放縱生活に慣れたる青年の最も惡む所なり、故に百方之が忌避を計る。今の學校教育を受くる者は、惡風最も甚しとす、特に青年の最も嫌ふは、服從なり。彼等は服從を以て恥辱となし、長上と抗爭するを名譽とし、事々物々服從を厭ひ、抗爭を喜ぶ。故に全國中等教育以上の學校に於て生徒の不穩擧動は、日日新聞紙上に顯れざるなし。素より教育者の不穩、其實一半を加ふと雖も、彼等の服從を嫌ふの念慮、是が素因たるは疑ふべからず。而し教育者は、如此騷擾の校中に生ずるは、自家の不名譽なるを以て、及ぶ限り平穩ならしめんとし、百方勸誘に盡し、其多くは甘言を以て、生徒の激昂を和げんとす。故に生徒の希望は、十中七八行はれざるなく、首謀と目さるゝ者、數月放校せらるゝと雖も、其多くは前非悔悟の名の下に、校門に入るを得、[illegible]に數月の疵病に罹るを忍び得ば、[illegible]亦難きに非ず。[illegible]故に驕兒愈々[illegible]り、今時は生徒却て教師を左右せ[illegible]とす。而して一旦兵營に入るや、命重き事山の如し、嚴要も其恣を許さず、況や抗爭をや、是れ青年の最も嫌ふ所なり。而して規律の如きは、彼は囚徒の桎梏と等しく感ぜり。國に律なくば、國亂る。家に律なくば、家敗る。身に律なくんば、身亡ぶ。故に擧に就く青年の大半は、病に犯されざるもの少れなり。是概ね放縱にして、自制する能はざるの賜なり。

米國に於ける「煙草トラスト」

其沿革と事業經營(一)

▽煙草トラストの特色 米國煙草トラストは世界有數の大合同制なり。同國には此他にスタンダアド石油會社、或は鋼鐵會社等の大產業トラスト組織の存するありと雖も、然かも煙草トラストは其の發達の徑路に就て前記合同制とは自から異なるものあり。即ち彼の石油トラストの如く、敢て鐵道運賃の特別待遇を受くることなく。將又生產方法に特許權の賦與せらるゝこともなく、原料供給上獨占的支配權を有することなく。競爭上製品の取引販賣に關して何等法制上政治上の保護を蒙むることなく。然かも今日の隆運を贏ち得し、すれば、他に多くの有利條件を有することなく、單に其の運輸資本の充大なることに依て、生產及び分配上に自から便益を收め、依て以て其の競敵を威壓し併合し、而して廣大なる市場に橫行潤歩し得たる產業合同の最も顯著なる例證は吾人之を米國の煙草トラストに見る。茲に米國の煙草トラストについて(一)其の起原及び歷史(二)競爭の方法(三)獨占上の利便(四)獨占上の特色(五)法律關係(六)行政的行動及び組織の六要目に亙りて說明する所あらむとす。

一、煙草トラストの起源沿革

▽初期の製煙業 米國に於ける葉卷煙草の製造は、十八世紀の中葉までは、未だ工場組織を成さず、極めて小規模なる家內仕事に屬したりき。當時機械力の應用せられざりし故、其の生產にも、其の販賣にも、多數の小營業者は隨所に割據して業を營めり。當時の葉卷製造業者は平均三人の職工を抱へ、千五百弗內外の運轉資本を擁して生產に從事し、其の製品は遠くに及ばずして、僅かに近隣の販賣者に供給するに過ぎざりき。一八九〇年に於ける製造業者の數は無慮二萬三千に及びたるも、其の平均年產額は各五千弗に過ぎず、斯くの如く地方的且つ割據的なる產業にありては、事業の集中統一を期すること甚だ難く、況んや之を打て一丸となしトラストの組織を期する如きは更に困難なり。但だ當時に於ても、板煙草、嚙煙草、鼻煙草、嗅煙草等の製造販賣に於ては稍々事業統一合同の傾向の現はれしを見る。時勢の進歩に伴うて、新式器械を使用せらるゝに至るや、地方的小製造業之に代りて起り、其の販路を世界の市場に求めんとするの傾向を生ぜり。一八九〇年は米國に於ける煙草製造業に一時期を劃するものにして、同年の製造額は六千五百萬弗に達したる一方に於て、製造業者の數は僅かに三百九十五に減少せり。此時に於ては各工場は五十名乃至一千名の職工を使用し、其の小規模のものと雖も年產額十萬弗を算し、當時良煙の聲高かりし「チユークス」、「ミキスチユア」「シール、スキン」等の如きは廣く米國各州に亙りて販路を有したり。然れども煙草製造事業に於ける結合の傾向は未だ容易に生ぜずして、其の萌芽を見たるは十九世紀の中葉、米國煙草株式會社の組織せられて、其の大資本の威力を以て事業の統一を謀策するに至りし時に屬す。

▽合同組織の萌芽 煙草事業に近世的トラストの具體現を見たるは紙卷煙草製造業に在り。紙卷煙草は最初より機械生產に屬し、一八九〇年頃初めて「ボンサツク」「エリオツト」等の有力なる器械の發明せられ、使用せられたる結果、生產能力の著しき增加を來し、其れが爲め大製造者間に販路爭奪に關する大競爭を現出するに至れり。此の猛烈なる競爭戰の行はれたる際に「ボンサツク」機械の所有者たる彼の有名なるヂエー、ビー、デユーク氏は機て雄心勃々禁じ能はざるものあり、獨を唱ふるの機運到來せるを觀取し、即ち意を決して一大煙草事業經營を創策せり。當時(一八九〇年)米國に於ける製造煙草全產額の九割五分は紐育、ロチエスター、ダルハム、リツチモンドの四市に於て生產せられ是等の都市に於ける五大會社を打て一丸とし、茲に有力なる煙草トラストの形成に向つてデユーク氏は努力を傾注して勇往邁進せり。而して右五會社の生產額は實に米國に於ける紙卷煙草全產額の八割五分を占め居たり。

是より米國に於ける煙草トラストの起源及び沿革を說かんとするに當り如何なる要件が此のトラストの形成に與かりて力ありしかを要約すれば即ち(一)生產上の技術的條件は大資本の投下を必要とし、從て大規模生產及び事業集中を來したること(二)機械の發明は激烈なる競爭を導びき當業者にして競爭上の苦痛より脫せんと欲せば、自然に事業の結合を必要とすること(三)生產經營の規模を大にするも重大なる障碍を生ぜざることこれなり。以上三個の要件こそ今日の大煙草トラストを現出せしめたる大動力と稱すべきなり。

日報詩壇

丁巳新年口號 黒柳 靜洲

山河草木仰初陽。瑞氣祥雲洽八荒。歐土干戈猶未熄。春風和處是扶桑。
東風吹暖旭光鮮。雪擁南山帶瑞煙。欲賦新詩頌淸世。梅花破笑竹籬邊。

評曰 明麗新穩二首於結句殊見妙

同上 大出 水鈴

四海春回瑞氣橫。翠松蒼竹頌昇平。恩波濃々無窮極。萬戶齊唱聖壽聲。

評曰 大久保湘南、有恩波四海皆春水句。與此詩可並稱也

日報歌壇

京城 香山 千藏

城壁にもたれてあれば春の冷ゆる冬の日向に君を戀ふ身か

曾て吾が爲せしが如きさまざまのたわけし眞似をなせる人々

我と我が兩手を強く握りしめ夕陽の前の草に見入れり

京城 佐々木柚子

黄に枯れし芝生の上に冬の陽のかよわきさまにひろごれるかな

落ちつかぬ心に町の燈火の狹霧の中にゆるゝ悲しみ

戀するをサタンの如く教へたるまこと血潮の枯れし師の君

急告

元山の京城日報販賣は從來通信員北川一をして取扱はしめ居候處都合に依り本月十五日より元山本町三丁目 西益三 に變更し廣告代理部等の事務の一切を取扱しめ候此段廣告候
追而一月分の新聞代、廣告料金は一切西益三宛御支拂被下度候

合資會社 京城日報社

中學全科の模範的獨習機關

學制革新

大日本國民中學會

會長 正三位 尾崎行雄
學監 文學博士 遠藤隆吉 理學博士 山內繁雄
學務 三宅博士 浮田博士
顧問 岡田文相 和田垣博士 新渡戸博士

大正新時代の青年は是非共中學卒業の學力を要す。中學校に入らずして家事の傍ら自宅に在りて完全に中學全科を獨習せんと欲する有爲の青年は大日本國民中學會發行の中學講義錄を讀む可し。

大日本國民中學會の中學講義錄は創立以來十有六年の豐富なる經驗と、學監遠藤、山內兩博士が苦心慘澹の結果案出せられたる最新式の教授法により、尋常小學校卒業程度の學力ある者に、中學全科を完全に教授する本邦唯一の模範的獨習機關にして、文部大臣の賞讃を受くること二回、陸軍、遞信兩大臣の推獎を受くること二回に及べり。

大日本國民中學會の中學講義錄は凡て談話體ふりがな付にして小學校卒業の學力ある者には何人にも容易に解することを得べし、萬一難解の個所あれば質問自由にして親切叮嚀なる解答を受くるが故に、學校に入り教師に就き學ぶと何等の異なるところなく、僅に一個年半にして中學校の全科を學習することを得べし。

大日本國民中學會の卒業生が中學校卒業者に伍して劣ることなき實力を有することは幾多の實例により證明せられ、特に帝大・三大學にては各其專門部特科に無試驗入學の特權を與へらる。尚卒業生中學力優等品行方正の士には學資を貸與して高等專門の學校に入らしめ、更に特志の士には海外に留學せしむ。詳細は會則に就て見るべし。

大日本國民中學會は、正則中學科の講義錄の外、高等小學校中學卒業者の補習並に專門學校入學準備の爲「國民補習講義錄」、中學卒業者の補習並に專門學校入學準備用の爲「高等科講義錄」を發行す。詳細は會則に記載しあり、就て見る可し。

東京神田駿河臺 大日本國民中學會
電話本局 [illegible] 振替東京 [illegible]

此際入會者に對し大特典あり 講義錄見本付會則無代進呈 此機を逸せず速に入會を決行せよ

會員募集 完全無比なる通信教育事業

獨再通牒內容

既電の如く獨逸政府は去る十一日在伯林中立各國代表者に對し更に公文を發し聯合國側の講和提議拒絕に對し之れが立場を明かにせるが其の內容左の如し(紐育電報)

一、露國は其の領土內の異人種を虐待し英國は愛蘭を壓迫す右は國民主義に依りて國を樹つるの主義と相容れず
二、小國を保護すと稱する聯合國側は希臘に對し歷史上類例なき壓迫を加へつゝあり
三、英國は倫敦宣言及び巴里宣言を無視し無法の封鎖を行ひ敵國を饑餓に瀕せしめ且つ中立國を迫害せり
四、聯合國は有色人種を戰爭に使用せり
五、露國及び佛國に於ける捕虜待遇法は人道に反す
六、アルサス、ローレン、ガリシヤ、ヴコヴィナ及東普魯西の住民を輸送したり
七、白耳義は開戰前より英佛に依りて特に其の中立を失ひ居れり
八、今後戰爭繼續の責任は聯合國側に歸すべし

チエケ侯我海軍に謝す

チエケ侯が英國海軍の世界的活動に就て行へる演說中太平洋上に於ける日本海軍との現時の提携を詳說し且つ曰く戰爭の初期に於いて英國海軍は勇敢なる日本海軍と共に膠州灣占領の名譽を擔ひ又日本海軍はポートサイドの東方に於て埃及に於ける英軍の作業を援助して敵國の東方侵略の防衞に從へり云々(倫敦電報)

勅使神宮參向

畏き邊にては一昨年御擧行の御大禮無事御終了に付歷代の御慣例に倣はせられ來る十一月頃勅使を伊勢神宮に參向せしめられ內宮外宮に其々神寶として御劔、御鏡、御弓、御矢、御鉾、御楯を獻上あらせらるべしと拜承す(東京特電)

山口選擧當選

山口縣に於ける補缺選擧は十四日開票の結果一萬三千百五十五票の大多數を以て瀧口吉良氏當選せり(東京特電)

農銀派出所昇格

昨年新設せし全州農工銀行裡里、金堤兩派出所は爾來營業成績佳良なるの故を以て今回支店と改稱し其の昇格披露として十三、十四の兩日同地方人士を招き祝宴を張りたり(全州特電)

哈爾賓より

▲驚く可き物價騰貴 歐戰以來哈爾賓は絕大の影響を受け各種舶來品は何れも騰貴せざるなし其原因は(一)貨物輸送の困難(二)洋雜貨輸入の杜絕(三)露國軍需品購買過多の三者に歸す可く此內一二は何人も其事情を熟知せる處なるが三に到りては世人の想像以上にて即ち近く二年間露國民の食料は全く北滿より供給を仰ぎ哈爾賓は此れが供給の根源地として百般食物其他各種軍用品等の採買さる、數量は巨額に達し貨物の出入相俟はざる爲め各種物價の騰貴は驚く可き程にて之れを昨年同期に比すれば非常の相違あり例令へば撫順炭の如き昨年每プート二角八分の物今や七角五分にスタンダード石油は昨年一箱四元五角の物今や十九元に洋蠟燭は昨年一箱二十元の物今や四十八元に暴騰する類にて埠民は內外人共に生活費の騰に吃驚せり

▲金融市場の恐慌 近日哈爾賓市面には一種金融恐慌の現象を呈せんとせるが其原因は(一)投機心の熾なる事にて哈埠は元來投機の盛地たる上に過般投機の機關として農產信託、鐵業信託の兩公司發生し之れに關係せる者は皆乾坤一擲の大投機を試み爲めに巨大の痛狀を負ふ者多きに今や結算期に至りて彼等狼狽の情は慘憺たる者あり(二)露貨の影響にて此事細說するを要せざるが昨年下落せる留は市場に充斥し然かも各種の露貨流通せる爲め市場は其眞贋を辨ずる事能はず一概に之れが使用を拒むを以て金融界は爲めに一大影響を受け(三)近年關の切迫にて哈埠は猶舊年末に於て一切の淸算を爲すを以て其影響は全般に亙り銀貨資本は益々缺乏する上に貨物輸送不如意にして物價益々騰貴するより貿行不活潑となり爲めに金融の流通は益々困難なるに到れり

▲製糖廠開業近し 前報の如く呼蘭製糖廠は石炭供給不如意の爲め一時閉業せるも長春より巨額の撫順炭到着する事となれるを以て昨今復た作業開始の準備中なり

▲召集英人の歸國 歐戰講和說も流れとなり英國は更に大規模の軍容を整ふべく筈にて其れが爲め北滿方面在留英人は多く召集され去五日哈爾賓發西行の急行車旅客の半數は英人なりしが來十二日發急行車には更に多數英人の歸國を見る可しと云へり

連山灣再築港

工事半成のまゝ中止となり居れる連山灣築港に就ては從來屢々工事再開の取沙汰ありと而かも其の實行は支那內政の紛糾と共に毫も見るべからざりしが最近某處に達したる信ずべき報道に據れば支那政府は資を米國に仰ぎて愈々本年三月より工事を開始し之を軍港となし猶ほ商港をも兼ねしむる由にて昨年中海軍部より派遣されたる委員は既に確的なる調査報告をなしたりとの事なり

▲連山灣の位置 は世人熟知の如く營口と秦皇島との間に介在し極めて要衝の地位を占むるを以て支那政府は夙に此處に商港乃至軍港を築くの意あり前淸光緒三十四年時の東三省總督は英人技師シユース氏を招聘して其の一帶の海岸を調査測量せしめしにシユース氏は軍港としても商港としても之れに過ぐる良港なしと復命したる爲め同技師の意見に基づき其後築港工事を開始したるも財政の不如意と內政の紛糾とにて工事を繼續する能はず遂に半成のまゝ爾來放棄せられ居たるものなるが支那政府が資を米國に仰ぎ愈々その工事を再開すとせば縱令それが單に軍港として海軍復興の一準備に供せらるゝにもせよ其の至便なる港灣の利用は北滿開發の上に一轉機を劃し延いて大連及び營口の盛衰に重大なる影響を及ぼすべきを以て決して等閑に附すべきものに非ざるなり

▲錦愛鐵道如何 は此の連山灣築港工事再開の實現と共に注意すべき問題なり英國技師の報告中に連山灣の所在地たる葫蘆島の位置並に氣候は頗る良好なるを以て築港と共に錦州より一鐵道を設け洮南、齊々哈爾、愛琿に達する謂ゆる錦愛鐵道を敷設せば[illegible]を經由する事となり交通上莫大の利益あるべしと論じあり而して支那政府も亦此邊の意圖なきに非ざるに似たれば連山灣築港後更に錦愛鐵道の布設を外資に依りて行ふ事なしとも言ふべからず錦愛鐵道敷設は米國の提議により日露間の問題となり竟に其儀となりたる歷史を有する事にもあり支那政府と雖も勿論輕々に着手せざるべきも此際一應注意しおくべき事ならんと思ふ(大連)

傳家甸營業問題

容騰朝鮮銀行にて哈爾賓支店の派出所を設けたる北滿傳家甸は哈爾賓を距る約十二三町程の一都市なるも重要の市場にて商業殷盛なる爲め將來有望と目されつゝあるが最近吉林省官憲は傳家甸は露國の租借地に非ざれば非公開地なり從つて日本人の營業を禁ずべしとて鮮銀の開店を妨害し殊に支那巡警は道路を遮して支那人の銀行往來者を悉く誰何しつゝあるとの說を傳ふるものあれど銀行に就て聞く所によれば傳家甸が開埠地に非ざる爲め鮮銀の營業を若干支那官憲が不快視し居るは事實なるに似たれど有力金融機關の設置は商業發展上極めて必要なりとし道尹の如き開店を默許し居り而して開店以來支那巡警等が積極的に銀行の營業を妨害せし事實もなく又銀行派出所は其の營業成績頗る良好にて特產貨出しに預金共に豫想外の額に達し取引先は益々擴張され銀行の基礎は逐日固きを加へつゝあり事情斯の如きに付監々の議論の如きは實力を以て押し進み行くより外なかるべく殊に商取引の便宜上支那側より銀行營業の擴張を希望し來るべく又其の域に達せしむる意氣込にて勉勵しつゝありと

大阪財界だより

▲商船武裝問題 我歐洲行商船武裝の件に就ては二十日神戶出帆の諏訪丸より實行する事既報の如くなるが其後武裝に關して異論者を生じ目下會社側よりの要請により遞信省管船局より海軍當局に向ひ種々商議する所ありしも未だ決定せざる由聞く處によれば諏訪丸乘組員中武裝を絕對に不贊成なりとし若し歐洲航路船舶にして武裝をなすに於ては此際下船す可しとの意を言明するものあり其の理由として僅に一門の砲を後部甲板に搭載するとも一旦前方より來襲する敵艇のある時潛航艇の行動敏活なるに反し商船は方面を轉回する事容易ならず又前部後部の二箇所に砲各一門を据付くるとするも

採木公司近況

鴨綠江採木公司の近況を聞くに客月中支那へ移出せし木材は一萬四千二百五十連にして目下同公司の貯材は紅松杉松落葉松を合し三十七萬零九百五十連價格九十二萬七千兩に上り居れり但し右の中既に取引濟のものは十三萬連に達する由市況としては引續く銀相場の高値の爲め金貨取引先に缺くる出荷は益困難なる模樣なるも一面本年の持越材は前年の約半數にして而も其の中前記の如く約四割は既に取引濟みに付春季解氷の頃を見越し思惑する者多く舊正月中頃に至らば一時に活氣を呈するならんと豫想せられつゝありと

昨年京城貿易

輸移出二百二十三萬四千餘圓
輸移入一千四百七十六萬餘圓

▲貿易總品價 昨年中に於ける京城貿易は輸移出品價二百二十三萬四千八百餘圓、輸移入品價一千四百七十六萬三千五百餘圓にして前年に比すれば輸移出に於て百十九萬千八百餘圓、輸移入に於て三百三十一萬八千六百餘圓の何れも增加を示し總額一千六百九十九萬八千三百餘圓を算せり、而して輸移出額は輸移入額に比し依然として著しき減差を免れずと雖も之を過去數年間の趨勢に比せば貿易の權衡は追年順調の域に向ひつゝあり

▲出入重要品 今同年中に於ける輸移出入重要品價を示せば如左

輸移出重要品(圓)

品目	價額
乾鹽魚	四八〇
人蔘	一七、一六一
繭	一三、二七四
黑鉛	三六
牛皮	一、二八七、八五一
煙草	三八六、八八三
肥料	二五、〇〇七
其の他	七〇四、〇六〇
合計	二、二三四、八二三

輸移入重要品(圓)

品目	價額
米	五、一七四
粟	一、七六三
小麥粉	一五三、三九四
食鹽	一
果實及種子	一八八、七〇一
鹽魚	一三、四一三
罐詰類	五二、五七〇
砂糖	二七四、二六七
淸酒	二三四、一二八
麥酒	三九、二六九
其の他酒類	四一、三三三
石油	一二三
繰綿類	九五、九九四
綿糸	四一七、七二五
生金巾類	一、四三七、二二六
晒金巾類	四九八、三四三
天竺布	三三、五七四
綿繻子類	七三、六三二
日本木綿	三二一、九二八
支那麻布	二二、九四八
毛織物	三七一、一〇六
絹織物	六九、九九五
交織布	三一、三九四
靴及び履物	三三四、〇四六
西洋紙	二二七、八一三
其の他の紙	五一三、三二七
文具類	一七一、八〇六
書籍、地圖、雜誌	一一七、七三九
銑鐵	三三一、二四四
鐵(管及筒)	一〇、六四一
鐵釘	六、七八四
軌條及附屬品	五、三三三
機械類	二六七、六四七
皮革	四一八、五七〇
陶器及磁器	三一、六六三
木材及板	六、三〇八
セメント及石灰	九二六
繩叺類	八六九
マッチ	七、七〇三
木製品	三四、七五一
洋傘	二四、〇八八
爆發物	九二
小包郵便物	六、六八三、九一六
合計	一四、七六三、五五六

是又少數の乘組砲手にて好く敵の攻擊に應戰し得るや疑問なり一旦武裝せる場合不幸にして敵に捕へられたる場合には普通捕虜として乘組員の命に拘禁せらる可きは幾多の前例あり從つて武裝は何等効果なしと云ふにあり

▲銀行增資機運 工業界の活躍は延いて銀行業の盛大を誘致し續いて增資の決行を見んとす獨逸の各銀行增資の經路を顧盼するに何れも工業界の活躍と相關聯し居れり本邦銀行業者の增資意見を減らす處又同一經路を辿らんとす本邦銀行業が時勢と共に活躍し來れるに毫も增資の決行されざるは未だ其の時期に達せざるにありしが漸次其の機運に向ひたるものゝ如し山口銀行もいよ／＼株式增資に決定せるは卽ち其の一端

御慰問使と朝鮮

畏き邊りの聖旨を奉じ侍從武官近く朝鮮の駐剳軍隊御慰問の爲め來鮮すべしとの報を傳ふる內地新聞あり右に付き司令部某當局に就きて訊せし所未だ何等の通知なきのみならず昨年御差遣遊ばされたれば從來の例に見るも本年は其事なかるべく恐らく支那滿洲駐屯軍隊御慰問使の事を誤り傳へしならん尙ほ朝鮮駐剳軍隊は大正五年四月より常設となり駐屯交代制時代の軍隊と異なるに付今後は多分御慰問使の御差遣を見る事なからん乃ち北海道旭川師團の如きは其の寒冷に於て決して朝鮮に讓らざるも曾て御慰問使差遣の事を聞かざるに徵しても推測するに難からず云々

移民渡來と東拓

東洋拓殖會社にては近く第七回の承認移民續々渡鮮し來るべきを以て來る二十日より下の關及び釜山の兩地に移民案內所を設け諸般の便を圖る事と

を示したるものといふ可し他の大銀行にても增資の決行を實現するに至るべしと觀測さる

▲結氷期と商船々繰 大連港は例年二十日頃迄航行し居れるが本年は既に結氷期となりしを以て同航路の大阪商船の如きは最終航として鎭南浦行須磨丸油頭丸の二隻を二十日同港出帆の豫定にして前者は既に直行に油頭丸を東京行に就行せしめ當分の內右二隻とも仁川以南へ寄港せしむと

▲シンヂケート處分 曩に臘シンヂケート團が引受けたる郵船商船を始めとして各種の株券は凡て處分され充分に消化されしといふ只大株丈けは當中先三期を通じて尙一萬株程ありといへば之が消化迄には多少の日子を要するやも測られずと(大阪支局)

なりしが出張社員は一兩日中に京城を出發の筈なり

鐵道運輸成績

一月上旬に於ける鐵道局運輸成績左の如し

		前年同月に比し增減
乘客	一五八、三九九人	二一、五二六人增
小手荷物	二五〇、五〇〇斤	一七、八八〇斤減
貨物	二九、七七四噸	一、一九六噸同
客車收入	一一五、三四九圓	一四、三〇二圓增
貨車收入	九〇、五一四	一五、八一〇圓同
運輸收入	二〇五、八六三	三〇、一一二圓同
一日一哩平均收入	一九四三	一四八五

釜山移出牛成績

釜山移出牛檢疫所に於ける客年中の移出牛數は一萬四千八百十六頭にして大正四年に比し四千四百六十一頭を增加し尙ほ逐年增加の傾向を示し居れり因に移出の最も少きは五六の二箇月にして僅かに二百頭內外に過ぎざるも其の他は平均一千四五百頭なりと(釜山)

人事消息

▲秋山發事官 十四日午後七時五十分南大門驛發東上
▲伊東四郎氏(全北警務部長) 十四日夜入京朝鮮ホテルへ

南言北語

獨逸は更らに中立國に戰爭の責任を說明して居る▲其の樣に責任轉嫁に努めなくても獨逸の云ふ通り歷史が追つて立派に證明するから誤心配には及ぶまい▲獨逸は羅國方面の軍を裂いてモナスチールへ向けて送つて居るらしい▲無論之れはサロニカの聯合に對する作戰計畫と同時に希臘を威壓して聯合側に引き込まれない樣に脅し付ける爲だ▲羅馬に於ける聯合軍事會議の結果希臘に送つた最後の通牒に對し希臘が大分グラッキ出したから之れを御せんとする獨逸の方寸である事は誰でも知れる▲獨逸の軍事的及び政治的計畫は今や巴爾幹に全力を注ぐ事になるのだろう▲何となれば羅國は彼れ丈け蹴散らしてある最一とつ希臘を味方にしてサロニカの聯合軍と決戰し目的通り戰爭が進まば最早巴爾幹に於ける聯合軍の根據は根本的に破壞する事が出來る▲其うすれば第二の講和提議はまんざら今回の樣に肱鐵砲も喰はされまいと云ふ考へらしい▲而しさう好く問屋が卸すか否やはお受合申す限りでない▲先達大阪商船の加奈陀丸が北米沙市に碇泊中軍備擴張運動の委員と稱する一米人が同船の船長を訪問して來て▲近日軍備擴張の示威的大行列をやるから船員も一同參加して吳れと頻りに賴む▲船長は聊か驚いて其れは酷い一體米國の軍備擴張はとやると米人一向平氣で▲何あに其樣な事は何でも好い擴張が始まれば此沙市へ戰鬪巡洋艦建造の注文が來て金廻りがよくなるから我々は擴張に努力して居る▲遠慮はいらぬ是非參加して吳れと云ひ置て去つた相な面白いではないか

南浦經濟狀況

鎭南浦客年十二月中經濟狀態は十二[illegible]週間に亙り取引中止の姿にて船貨の引揚げと相俟ってあらゆる穀貨五十[illegible]を生ずるに至りたり取引を阻害する事不尠例年十二月には各銀行の殺[illegible]見るに至らず概して平穩なり而して十二月上旬にありて年末迄には臨[illegible]て只割安物の小口取引に止まり紡績布類亦其影響を蒙り自然是迄鈍[illegible]九、四四六圓にして預金は一一八二[illegible]六三八圓なりと云ふ[illegible]入を見るに至れるも綿糸布類は相[illegible]極度の昂騰を示せる爲め地方の實[illegible]は閑散なりしに反し一方明太の漁期に入れると舊正月の近づくに伴れて値頭高なるに拘はらず內地の入荷依然尠少の爲め不相變貫注文頻繁を極め且つ新春より阪神行き運賃引上[illegible]

□品質本位の
染料出づ!!!
戰亂の餘波粗製濫造の混沌たる染料界に
獨り品質の優良
色澤の鮮明を誇る
德國洋行の染料出づ乞ふ之を實證せられよ
染料顏料廠 德國洋行
代理店 德高洋行 京城永樂町二丁目 電話長一一三一番

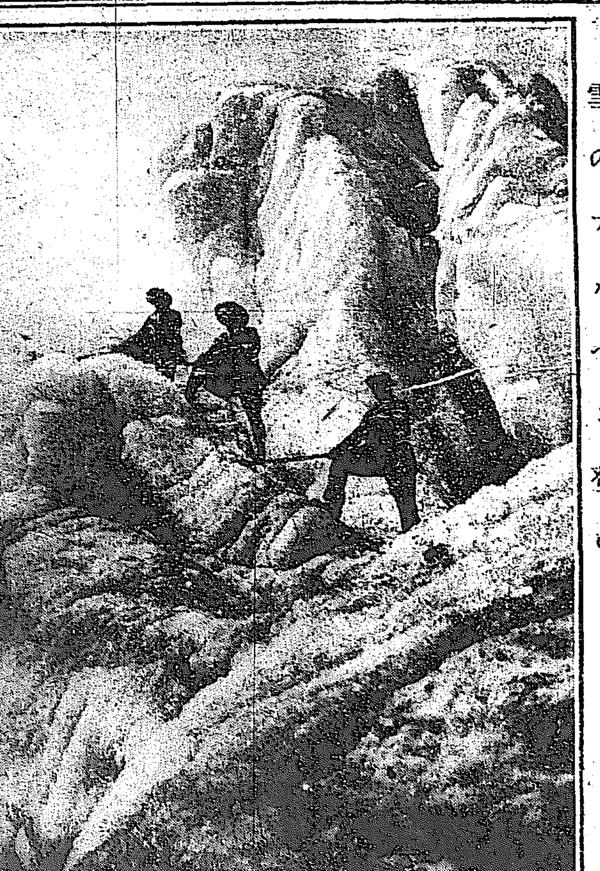
新年號
經濟之日本 株式自由號
大正六年の財界に處する覺悟……(社說)
株價と財界の事情……(社說)
新春の株式如何……山口竹堂
株式の實勢に詳通する空前の大祕策 提供 ▲各會社の內容豫想等 本社獨特の調査法に依り
心血を注ぎたる投資家必讀の大文字……
□經濟の移展と地方自治……內務大臣後藤新平
□產業發展の急務……農商務大臣仲小路廉
□新春の株式米穀觀
新藏相及其幕僚……人物月旦
新株募集 會社良否判別法……銀行家及當業者 本社理事
一冊卅五錢郵稅一錢五厘 (振替東京二三八八三) 東京神田 經濟之日本社

精力を主義とし不老を理想とする靈藥を召し上れ
高麗人蔘精 京城淸進洞百十七番地 朝鮮蔘藥研究所
人蔘エキスの御愛用は品質の純正優良にして効能顯著なる高麗人蔘精に限る [illegible]
市內特約販賣店 明治町二 淺川商店

斯界空前の大雜誌
家禽界 新年倍大號
▲附錄 額面用三色版 パートリッヂロック標準畫
▲一月中の養鷄注意 ▲冬季產卵增收の秘法 ▲一心不亂にやれ
▲新興國の養鷄……前田子爵
▲寒中產卵增收法……松川技師
婦人欄 ▲愛を以て鷄を飼へ……新渡戶博士 ▲四季娛める鷄の趣味……奥田子爵 ▲家事の餘暇を利用する養鷄 ▲趣味本意の養鷄……婦人記者 ▲アイヌ神話鳥の話 ▲鷄の料理……武田美登子 ▲滑稽情話 ▲小說「山雀の曉」
▲秘訣公開 各水禽多產法 ▲肉用鷄大王シャモ改良秘傳
▲驚異發表產卵增收用の鷄舍設計(圖入說明) ▲一回成功孵卵器活用法 ▲羽の雌から年に五百の收卵法 ▲七面鳥の飼養法 ▲鷄の善惡鑑別法
▲巢鷄利用一回五千羽化法 ▲簡易な支那式去勢法……小野臺灣總督技手
▲本號に限り特價 金五十錢 ▲半年前金一圓五十錢
東京神田猿樂町 曉聲社 振替東京一四七九〇

◉機械、電工、建築、土木、採鑛冶金、四學期 一、二、三生徒募集 入學期日 二月十一日迄 ▲授業開始 二月十二日
◉實驗、實習、機械標本等ハ早稻田大學理工科ノ諸設備ヲ共用ス ◉中學卒業者ハ第四學期ニ尋常小學卒業者ハ第一學期ニ無試驗編入ス ◉規則要郵券三錢
早稻田大學附屬 早稻田工手學校

け當地穀物市況に一頓挫を來し約一　細き底光りを示し金融又稀有の事は　呈したるが獨墺國の講和提議の飛報々大ならしめ當月中約九萬圓の輸移出を見たるも尚二十萬圓近くの滯貨を生じ一部の金融は多少梗塞を免れて資金の固定は斷の免がれざる處に一般金融は大して引締りをして多少の買控の氣味を示したる狀態、鮮銀の三銀行貸出總額は一五七は依然順調なりしと云ふ今三和、平洲、東洋、其他雜貨の入荷相當頻繁にして滿の引合納頭となりて以來漸く搬仕入れ手控への姿となり該資金の需要一段落を告ぐると共に漸次回收にと船腹の不足及び農家の賣惜みに因り氣迷ひの姿に陷りしも初旬頃に於焦りたる結果移出稀有の盛況を呈し金融は自ら始終繁忙の裡に越年したりといふ（　）


雪のアルペン登り

●壯絶！雪のアルペンへ
瑞西滯留の人々我もくと
戰爭の叫びを聞き流して

私は戰亂の始まると同時に退去を命せられましたから獨逸に止まつて居つた期間は極めて短かゝつたのです、それから一度

▲倫敦に立歸り 更に瑞西に入り渡歐の目的であつた商法研究の爲めチウリツヒの大學に一箇年半居りました、瑞西も戰亂の影響を受けて物價は非常に昂騰して居ります、現今聯合國側から獨逸國內の事情を探らんと爲るには是非共瑞西に這入らなければ成らぬそれと同じ樣に獨逸の方からも

▲聯合國の模樣 を探ぐるには瑞西へ來るのが一番便利でありますから各國から然う云ふ如うな任務を帶びて瑞西に這入込んで來る者が非常に多いやうです、瑞西は獨、佛、伊、三國語を使つて居るが其の內の三分の二迄は獨逸語を使ひて用る位ですから隨つて獨逸贔負の人達が非常に多いやうです而し新聞などは

▲比較的公平の 記事を掲げて居つて世間で傳へる如うに新聞雜誌が悉く獨逸から買收されて獨逸の都合の好い事ばかり書いて居ると云ふ如うな事も見當りませんでした、食料品なども國外から輸入するのに六ケ敷なつた爲め殆ど官の專賣と爲つて砂糖馬鈴薯米等量を定めて一度に其れ以上を買ふ事は能きません、又瑞西に

▲境を接して居る獨佛伊等の交戰國は其國境通過に就て非常に嚴重なる取締を爲て居ります、殊に伊太利の國境取締は最も嚴にして繪葉書の如きものでも普通の繪畫なれば兎に角一寸した建物とか風景とかと云ふものは最早絕對に國內から持出す事を宥さず其の上丸裸にして

▲身體檢査を行 つた上でなければ境外に出されぬと云ふ有樣であるから旅行者の不便は申すまでもありません、伊太利は世界第一の山水明媚風光秀麗の遊覽地であるだけ戰爭中と雖も矢張り遊覽の客は其の跡を絕たない位です、瑞西の遊覽鐵道は縱橫に亙り其の停車場は如何なる田舍の小さな驛でも自由下車驛でない處はなく

▲旅客は勝手に 下車して附近の景勝の地を探る事が能きます、首都ベルン及びチウリツヒ等の冬の寒さは京城あたりと殆ど同じ位の寒さであるが雪が多く降ります、市民は雪を非常に喜んで決して之れを掃き捨てる如うな事をせず老若男女打群れて橇に乘り

▲スキーを穿ち て嬉々として樂しみ遊んで居ります、更に南の方に聳ゆるアルペン連山を仰げば千古の氷河日に耀き美しき事譬ふるものもありません、アルペンの氷河攀登は歐洲紳士の壯遊の一つであります（岩田翰宗氏談の一）

●砲煙尚濃き西方諸戰場
＝昨今の戰局＝

△講和風が吹き出しても歐洲の戰場は相變らずの砲煙彈雨、佛白方面の西方戰場も露獨國境の東方戰場もかなりに戰鬪はつゞいてゐる

△西方側では獨逸はヴェルダン攻擊の手を緩めては居ない、ソンム方面でも兩軍一日に使用する

■砲彈の鋼鐵の量 は日本に於ける製鋼量の一箇年分だといふことである——大砲も多いが工業の進步も驚くべきである

△然るに此の頃急に活躍して來たのは巴爾幹の羅馬尼方面である、昨今獨のマツケンゼン將軍は木枯の落葉を吹き拂ふが如く羅馬尼を席捲して既に全土の四分の三以上を占領して了つた

△此の勢ひで行くと獨墺同盟軍側は更に馬首を廻らして希臘のサロニカに於ける

■聯合軍擊退に向ふであらう

△昨今巴爾幹に於ける敵の活動を見るにブルガリア軍も土耳其軍もなかく巧みに戰ふやうである、これに對しては聯合軍たるもの百尺竿頭更に一步を進めるの必要が大にあるだらうと思ふ

△サロニカ方面に於ける聯合軍も今のまゝではどうも振はぬ、また羅馬尼に於ける露軍も羅軍との協同一致が少し缺けてゐるやうである、これは追々回復されることゝは思ふが何とか快報を得たいものである

△元來羅馬尼亞の起つて

■聯合軍側に加擔 したことは餘り慶賀すべきことではなかつた、羅馬尼亞が蹶起したはよいが現下のやうに同盟軍に占領されて見ると却て伯林と君坦丁堡間の交通を容易ならしめたかの觀がある

△何となれば東西に長き羅馬尼亞を橫斷すれば同盟軍側には迂廻したる鐵道によらずして一路土耳古に向ふの捷徑を得た譯である

△されば昨年羅馬尼亞蹶起の報を得てわれ等は聯合軍側の爲めに悲むだ位ゐである、羅馬尼亞は依然として

■嚴正中立でゐた方がよかつた——聯合軍側の爲めにもよかつた

△露西亞でも怪僧ラスプチンが斃れた——宮中に親獨派の人がゐるといふやうなことは實に悲むべきことであるが露西亞も大に緊褌一番を要する次第である（某將校の談）

●軍艦『筑波』沈沒す
橫須賀碇泊中火藥庫爆發して
死傷者數百名を出す

橫須賀軍港第三區に碇泊中なる巡洋戰艦筑波（一三、七五〇噸）は十四日午後三時二十分轟然たる大音響と共に火藥庫爆發し焔々たる火炎天に沖して大火災を起したり乘組員一同死力を盡して防火に努めたるも容易に鎭火せず其の間艦體は大破損を生じ死傷者數百名を出し同艦は終に沈沒するに至れり此の椿事起るや軍港內は戰場の如き大混亂を呈し上を下への騷擾を極めたり（十四日午後五時十分東京本社特電）

◎取立金を橫領　高陽郡龍江面東幕下里李暎采（三〇）は昨年舊十一月中知己なる同郡土亭里韓貞鎬より驪州郡吉川面梧把里金永壽に貸付ある貸金の取立を依賴され十二月初旬同人より金八圓を取立て、橫領消費し京城分隊に檢擧さる

□殊勳——西の海を倒した眞砂石

◎全州の火災　全北全州高砂町大工立川孝吉方より一月八日午後一時四十分頃發火し全州署員消防組守備隊等出動して消防し木造平屋建一棟を燒失したるのみにて同二時四十分鎭火せり損害百七十圓原因は溫突の焚き過ぎなりと

春場所
（十四日午後十時 京城本社特電）

▼三日目
對馬洋の休場

十四日の三日目は日曜の事とて相變らずの盛況、對馬洋は前日鳳との立合ひにて負傷休場せり主なる勝負及び四日目の取組左の如し

勝		負
男島		大貫
國見崎		朝日山
稻の穗	分	朝綠
大潮		龍ヶ崎
千葉崎		大の里
宮城山		鳴門洋
浦の濱		梅川
大鳴門	休	對馬洋
栃木山		大響
源氏山		大戸平
三杉礒	（つきだし）	浪の音
花の山	（よりだし）	浪泉
大門岩		藤の川
常の花		琴ヶ浦
入甲山		紫雲龍
紅葉川		駒泉
釋迦嶽		石山
西の海	（よりきり）	玉手山
鳳	（よりきり）	岩木山

中入後

勝		負
一湊	（したてなげ）	若島
君ヶ濱	（おとし）	敷島
小常陸	（よりきり）	千年川
逆鉾	（よりきり）	黒瀬川
兩國		土州山
大錦	（おとし）	眞砂石
九州山	（おしきり）	伊勢濱
太刀山	（だし）	宇都宮

右の內▲刈藻川に大門岩は大門二本差して寄進み掬ひ投を打つを刈藻川を突きつけ同體に流れて預り▲大潮に龍ヶ崎は右四ツ强引に持出して潮の勝ち▲琴の浦に常の花は常二本差して寄るを琴門に捲めしが利かず寄倒して常の勝▲千葉ヶ崎に大の里は激しく突き合ひ大懷に突いて押さんとして飛び込むところを叩き込んで千葉の勝▲入甲山に紫雲龍は右四つ寄倒して入甲の勝▲鳴門洋に宮城山は突張り激しく宮の勝▲紅葉川に駒泉は紅葉飛び込みさま二本差して內掛けを見せ駒の逡巡ぐをすかさず寄倒す▲浦の濱に梅川は梅突き張るを浦受て左をさすや右手に梅の首を卷いて强引に持ち出さんとして梅が懸命に殘すをそのまゝ寄り倒して勝▲石山に釋迦ヶ嶽は石飛び込んで右差となるを釋迦泉川に極め押し合ふ內石の腰碎けて負

▲大響に栃木山は栃立ち上りさま双筈に構へて出足早に押進み響が土俵口を廻つて殘さんとするを追ひ詰めて突き放し栃木の勝

▲大戸平に源氏山は立ち上るやガツキと左四ツ源氏右上手を引けば大戸半身となりて强引の下手投を打つて源氏殘すと共に出し投を打ち體を突きつけて勝▲玉手山に西の海は左四ツチヨコくと寄り切つて西の勝は餘りに簡單▲鳳に岩木山は左差し一氣に寄切つて鳳の勝

中入後

▲若島に一湊は左四つ一湊の下手投にて若コロリと倒れしは花婿餘りに脆し▲敷島に君ヶ濱は突き合ひ引落して君の勝▲千年川に小常陸は左差し煽り立つて寄り倒し小常陸の勝▲黒瀬川に逆鉾は逆左を差して寄切つての勝は元氣なり▲土州山に兩國は土州素早く二本差して一氣に寄切りしも餘りに出足の早かりしため踏み越して兩國の勝は惜しき相撲▲眞砂石に大錦は眞砂石鋭く突きかくるを錦受けてその差手を引張り込まんとするを嫌つて引き拔き勢ひ込んで突きかくるを素首落しにて錦の勝

▲伊勢濱に九州山は九州立ち上りさま左を差して右手に伊勢の左手を殺して押し進むを伊勢殘しつゝ右手に九の左手を卷きつゝ小手投を打ち腰の伸びるを透かさず左筈にて押切り九の勝▲太刀山に宇都宮は宇都宮の突立つるを太刀山捌いて反對に突き進み遂ひに突き出し太刀の勝にて打出し

▲四日目の取組

（大潮）（龍ヶ崎）駒泉（逆鉾）
（八甲山）（鳴門洋）琴ヶ浦（千年川）
（君ヶ濱）（小常陸）（梅川）宇都宮
（十州山）（若島）（眞砂石）千葉崎
兩國（源氏山）（大錦）
浦の濱（伊勢濱）（玉手山）
九州山
太刀山
△中入後
（大門岩）（釋迦嶽）（紫雲龍）（一湊）
（敷島）（紅葉川）（大鳴門）（石山）
（宮城山）（岩木山）栃木山（西の海）
（大響）（大戸平）鳳（黒瀬川）

▼四日目の好取組評
本社豫想懸賞の琴駒泉鳳栃木山

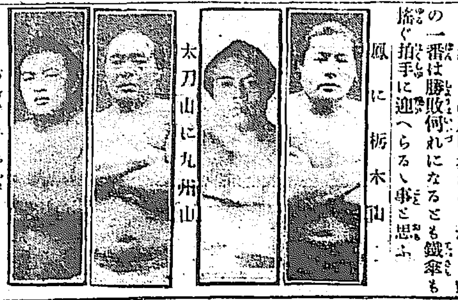
十四日の三日目は日曜日とあれば招かずとも客は來る、茲の道理をよく心得た協會の猾い方略から平凡な取組のみだつたが十五日の四日目は鐵入を當て込んで好取組を出した、その主なるものに就いて豫想して見る

◆駒泉に琴ヶ浦 共に今場所の入幕同志本社の豫想懸賞勝負だ、幕下に進んだのは駒が大正四年の一月琴がその次ぎ場所、幕下時代は昨年の夏場所に初めて顏が合つて駒の負になつてる、駒は三日目精慄、紅葉川に敗れたが大鳴門、土州山の大敵を倒した琴は武運拙く全敗してるが實力は相伯仲してゐる年輩も同じ力もあり業も双方にあるが琴に少し歩があるやうだ但し琴は場所前病氣をしてゐるのと土俵度胸のあるのと前場所全勝に瑕を付けられた報復とで駒は全力を注ぐだらう

◆宇都宮千葉崎 絕好取組である、千葉は新入幕随一の元氣者堂々たる大力士の風を備へて宇都宮とは初顏合せ實力から言へば宇都宮と匹敵する宇都宮が場馴れてる丈順當の勝負と見るのが至當だらうが千葉の今日の實力から押して千葉の勝を主張したい、彼が三十二貫の巨軀を突きつけて出足早に押して出る力は侮り難いものがある、宇都宮のやうに立合に粘來な所が無い所だけでも非常の強味である

千葉崎に宇都宮　琴ヶ浦に駒泉

◆栃木山に鳳 是亦懸賞豫想の相撲だ、前場所鳳は休んで顏が合はなかつたが昨年の一月一昨年の五月には二度共鳳が負けてる許り栃木の入幕以來全敗してるのである、それで栃木より鳳が弱いかといへば然うではない、今年の鳳は立合の呼吸を覺つたやうだから從來の如く相手の鋒を受けて立つやうな事はあるまい、相手が名題の相撲巧者それに二段の失敗に懲りてる丈に充分調子を高め例の德俵の頭を下げてかゝるだらう然すれば鳳に歩がある恐らく此の一番は勝敗何れになるとも鐵傘も搖ぐ拍手に迎へらるゝ事と思ふ


鳳に栃木山　太刀山に九州山

◆九州山太刀山 三日までに大關二人まで喰つた九州山の元氣は大したものだがまだく太刀の敵では無い太刀山といふ角力が相手の勢ひがよければそれ丈警戒してかゝる力士だけに九州に取つては勝目が無い、唯大關二人を占めたといふところに興味を有つて引合に出して見た

●國技館大相撲春場所成績表
（表中○勝●負△預×分）

東の方（一二三四五六七八九十）

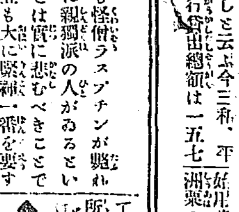
力士	一	二	三
鳳	○	○	○
伊勢濱	●	○	×
太刀山	○	○	○
朝潮	休	休	●
大戸平	●	●	○
玉手山	●	●	●
黒瀬川	●	○	○
眞砂石	●	○	●
大[illegible]	●	○	●
鶴渡山	休	休	●
石山	●	●	●
浦の濱	○	△	●
千年川	●	●	○
大鳴門	休	△	●
紅葉川	○	●	○
土州山	●	●	○
敷島	●	○	●
若島	●	●	△
柏戸	休	休	○
千葉崎	○	○	○
琴ヶ浦	●	●	●
鳴戸洋	●	○	●
入甲山	○	○	○

勝星 二十六　負星 三十二

西の方（一二三四五六七八九十）

力士	一	二	三
對馬洋	休	●	●
西の海	○	●	○
大錦	○	○	○
栃木山	○	休	○
兩國	○	●	○
九州山	○	○	○
宇都宮	●	△	●
小常陸	○	●	●
綾川	休	休	×
源氏山	○	休	●
君ヶ濱	○	○	●
岩木山	●	○	●
梅川	●	○	●
釋迦嶽	○	●	●
宮城山	○	●	○
逆鉾	○	○	○
近江龍	休	休	休
紫雲龍	●	○	○
一湊	○	●	●
駒泉	●	○	○
四海波	休	休	休
大門岩	○	△	休
龍ヶ崎	●	●	△

勝星 三十　負星 二十三


純良の藥品と賣藥が揃つて居ります
クラブ化粧品代理店ですから……御値がお安いです
京城本町二丁目角
古城賛化堂
電話一〇二番 振替七三七番

神經衰弱特効
ユーキリン
榮養ヲ增進シ神經衰耗ヲ補フヲ以テ神經衰弱、陰萎、榮養不良、結核諸症、腺病、重病回復期ニ適ス
粉末 廿五瓦入金七拾五錢　錠劑 百錠入金八拾錢
本品ハ帝國大學教授本邦蛋白化學ノ泰斗タル鈴木博士ノ創製ニ係ル吸收性同化性ノ理想的有機性燐劑ナリ
說明書進呈ス、各地有名藥店ニテ販賣ス
東京室町 三共株式會社

內地塊炭 撫順塊炭 無煙煉炭 商
京城西小門通
西崎商會
電話七二七番

帝國大學病院 赤十字社病院 陸海軍各病院 公私立各病院 御採用品
消化新藥 柏木ヂアスターゼ
糖化力最强にして効力常に一定す
發賣元 大阪道修町三 田邊五兵衛 大阪平野町二 岸田市兵衛 東京本町四 田邊元三郎

外科 一般花柳病科
內科 一般皮膚病科
普通及隔離病室完備 診察夜九時迄
京城旭町一丁目（本通り左に入る）
島崎病院
電話二七三六番

ほまれ味噌
天下一品
譽醬油　龍醬油
京城太平通二丁目
日本醬油株式會社 出張所
（電話二四五番）

資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
★
京城本町壹丁目
株式會社百三十銀行京城支店
電話[illegible] 振替貯金京城[illegible]
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地有之候

怒濤の月

小林蹴月作　武内桂舟畫

四十九

遺書【十】の四

『白富さん、貴方は一體何を被仰つてお在るんです。』

幽かながらも、總十郎の獨語を小耳に挾んだ老母は、多少氣の毒なと思ふ感じも起りかけて居た矢先なので、それとはなしに問ひ寄つて見たのである。

『…………。』

總十郎は、稍りわるさうにして、只眼を瞬たいて居た。

『妾は兎もあれ、入さんと襲つて、偏屈者の伜が、彼のやうに言ひ出しましては、もう此のお話が圓滿に納りやうは御座いませんから、迚立てゝではありませんが、今夜の所は、お引取りになつて頂くより外は御座いますまい。』

詰り、體好く言つて、斷つて貰ふのが、老母の主意であつた。

『いや、何から何まで、御道理至極で御座います。』と、總十郎は、自らの身を自らで責め付くるやうに恐縮しながら『血を分けた只つた一人の娘を、あんな事に爲て退けた上に、貴方々お二人からは、鬼か蛇のやうに思はれますのも、眞個俺の愚かな爲めです。もう斷念めました。今更になつて、お詫など言ひに來ましたのは、怎麼にも俺の手遅れで御座いました。では、お語に從つて、お暇を致しますが……然しながら、お袋さんに……。』と、再び聲を途切らせながら、涕を啜つて『…幸さんも若し、その邊に居るなら、俺の今申し置く一語丈を聞いといて下さい。娘の紹代は、決して〳〵、お前さんの事を忘れて居る譯ぢやないんです。眞實一生涯の良人と思ひ込んで、結婚の時節が到來するのを、指折り數へて待つて居たのですが、俺とお久とが、黄金の光に眼が眩んで、無理無體に屋敷へ送り付けて了つたのですから、本人の紹代に、毛頭罪のない事丈は、眞の親の俺の口から、飽まで證ひを立てゝ置きます。あゝ、それを考へれば考へるほど、可哀さうでならぬのは、紹代の身上です。百萬圓の金は貴いかも知れませんが、親一人子一人の愛情を振捨てゝ、金ゆゑに定まつた良人まである娘の操を玉なしに終て了つた俺の罪……俺の因果は、恐らく、天道樣とて赦しては下さらないでせう。貴方々お二人が俺の詫言を肯き入れて下さらないのも、必ず無理とは思ひません。』と、所謂眞の正直心から湧く懺悔の熱涙は、頬から膝へぼた〳〵と降り落つるのであつた。

席を外した幸三郎も、障子越しに此の懺悔談を聞き居るのであつたが、流石に老人の心中を察して、つい今までの事は、水に流しませうと、快く言つて安心させて遣りたいやうな氣も起らぬではなかつた。けれども、まだ〳〵それを言ふべき時節でないと思ひ直して、自身は自身丈に、只管彼の松崎と約した明日の夜の事ばかりを取越苦勞して居た。要するに今の總十郎の懺悔談を聞いてからは一層彼の心が亢奮を來したのであつた。――將來の成行は兎も角、一時も早く紹代を今の苦境から救つてやるのは、人間としての義務である――矢張自分勝手の方へは理屈が付け易いのであつた。

『では、お袋さん、俺は、是でお暇を致しますから……。』と、總十郎老人は、何時まで居ても際涯がないと思つたのであらう、涙の老眼を押拭きながら、暇を告げて、悄々として立ち上つたのである。

『是はまあ、お關ひも致ませんで。』

老母は、何と言ひやうもないので、普通一通りの挨拶を爲て、靴脱の所まで送り出したのであるが、とぼとぼ出て行く總十郎の後姿が、路次の出口の瓦斯燈の灯影から離れて、約そ小半丁も行つたかと思はるゝ頃、入れ違ひに駒下駄の音荒々しくも、急ぎ足に幸三郎の門口まで驅け込んで來た者がある。

『あの、御免下さい、此方へ若しや宿の人が參つては居りませんでせうか。』

破れよとばかり格子戸を叩きながら、無遠慮に怒鳴り立てる聲音から、丈格好は、正しく總十郎が後妻のお久であつた。せい〳〵と呼吸を喘ませ、聲を急ッ込んで居る氣色は、他所ながらも、尋常事ならずと見られた。

●全く防腐劑の入らない
日本醸造酒 卸 小賣 廉價
京城新町 電話九二四 田中酒造場

◉本年中に十二億

殖れた金は什する

我正貨は本年末に於て結局十二億以上に達すべしと豫期せらる即ち之を如何に利用するかは正に本年の我經濟界に於ける重大問題たるべく從來我邦に在つては國債償還方法に關して種々の論議を見たるも而も正貨利用に就ては何等の研究なく幷ひ本年に於ては之に對して種々の議論を見るならんと思はる但し

▲經濟上の問題 は理論にあらずして實際實利の問題なれば理論上多少の批難あるも實際上の利得に就かざるを得ず此點よりせば減債基金制度の如きは多く言ふに足らず是れ實に正貨減少の甚だしき際に立案せるものにして正貨激增の今日殆んど其價値なければ也正貨即ち還債以上に

▲有利に放資 又は外國債に應募し得んには強て基金制度を固執するの必要なく假りに有利にして有望なる放資あらんには支那大借款と勿論支[illegible]債も露債も亦惡からず從つて但所或ひは露國債券引受に關して同盟の信用を疑ひ又或は

▲長期を嫌忌 し英國債引受の餘りに巨額なるを難ずるが如きは撿ろ我邦人の一弱點と做すべく戰後の國債問題が利權問題に就いて特に激甚なるべき事情に顧み我實業家の覺醒を望むと某氏は語つてゐた

齒科診療 南山町三丁目(電車通) 電話九二〇
齒科醫學士 橋本[illegible]
橋本齒科醫院

◉米國戰後貿易 商務局長の演說

[illegible]々の法令を設けたる事は從來其例に[illegible]議所に援助を與へたるが爲等よりも一面に亙りて其營業方針に干渉し以て[illegible]事情あるが故に米[illegible]な内に於ける貿[illegible]

▲平年價格に維持 するを[illegible]示せる所にして外國貿易より利潤を[illegible]享けたるは前記中央西部諸州農民を[illegible]値を保合ひたる爲め昨年に比し頭數で本月中相場は一布度十留内外の高[illegible]

◉久枝院長の再治療開始 昨年十一月以來好成績を擧げたる特殊注射療法久枝院長は患者及び有志者の希望に依り一月十日より約一ヶ月間京城長谷川町安東病院に於て再び診療を開始すと

◉大日本新聞學會の大發展 曩に新時代に適應する青年新聞記者を養成し新聞紙の社會的本質及び機能等を科學的に研究說明せんが爲に起れる大日本新聞學會は既に創立滿一週年を經過し優秀なる幾多の人才を擧く我内地及び[illegible]に支那等に送りたるが今や更に[illegible]東京文壇の[illegible]と[illegible]し從來刊行せる新聞講義録に[illegible]新に特選科を設けい[illegible]評論」を發刊し我[illegible]論文[illegible]に新旗幟[illegible]に至れり同會は我國最初の試みにして而も最も有益なる社會的知識機關となり[illegible]我國に於て最特色あるものなれば必ず青年有志の士の大歡迎を受くべし(東京市丸の内有樂町一の三大日本新聞學會)

◉『國民評論』の發刊 近來各種の刊行物の類々として[illegible]する間に立ちて『國民評論』は最も堅實なる基礎を有し清新の主義理想を以て出現せる眞面目なる雜誌なり時代の革新期に際し精透なる文明批評を加へ國民運動の提唱者理解者たらんを期し[illegible]知識階級及び青年の間に人文傳道を行ふを目的とす[illegible]博士[illegible]谷[illegible]の政治[illegible]等は同誌特有の[illegible]定價廿[illegible](東京[illegible]の國民評論社)

◉早稻田工手學校 早稻田大學附屬の同校は同大學理工科の[illegible]教授親しく教鞭を執り中等技術者[illegible]成するを目的とし[illegible]一箇年半にて卒業し[illegible]二百餘名を出したるが[illegible]要求ありて[illegible]十二日に開始し二月十一日迄は入學し得る由

新刊介

▲朝鮮農會報(新年號) 朝鮮農業界の革新を[illegible]『朝鮮産牛改良問題に就て』[illegible]朝鮮に於ける[illegible]京畿道水原郡[illegible]

▲滿蒙研究彙報(新年號) 大連税關に於ける通税及び犯則處分に就『滿洲[illegible]』[illegible]等の各項[illegible](奉天[illegible])

▲大陸(新年號) 支那は一個の謎也『大隈侯』[illegible]『日置公使其他支那に關するもの南滿洲[illegible]」南滿洲の土地の[illegible]其他の投資に關するもの[illegible]『清水文學士』[illegible]婦人に關するもの及び[illegible]新開地と新生活[illegible]『久保要藏』[illegible]三十錢大連[illegible]

▲殖民世界(新年號) 殖民公論を改め[illegible]ものにして内容を革新せり[illegible]『吉田[illegible]』[illegible]日本移民及殖民と共の前[illegible](二十錢東京市日本橋區[illegible])

▲電氣化學(新年號) 電氣界面化學に就て『片山博士』『電氣化學工業の効果』[illegible]『加藤博士』[illegible]引續きて[illegible](二十錢東京[illegible])

京日案内
普通五十錢(一回前金一行) 番外一圓(一回前金一行) ▲申込後中止の節は料金返戻せず

◉寫眞修整技師 一名募集 希望者見本送れ 安東縣寫眞館 43

◉電話買受けたし 御希望の御方は左に御通知あれ 京城本町二丁 大塚大三郎 48

確實有望雜貨化粧品特約店販國に就き主急權利共居抜の儀讓る (姓名在社) 42

◉貸金 商人又は官吏の人に信用貸金秘密に取扱ふ 京城太平通二丁目八九 原田古物店 36

恩給年金 即時 立替月利壹分 步二厘五毛 三年迄無保險 京城南大門外 御成町 西鮮支店 京義線沙里院 山口屋 24

◎鑛物定量分析 太平町二丁目 電話三五四 朝鮮公論社 左横小路 坂元分析所 33

中古ミシン賣買 御用の方は御一報次第參上可仕候 京城鍾路二丁目 電話二三三八 楠ミシン店 49

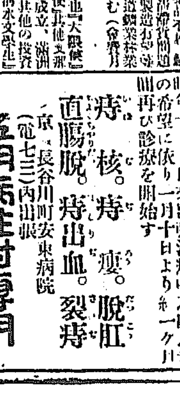
最新刊

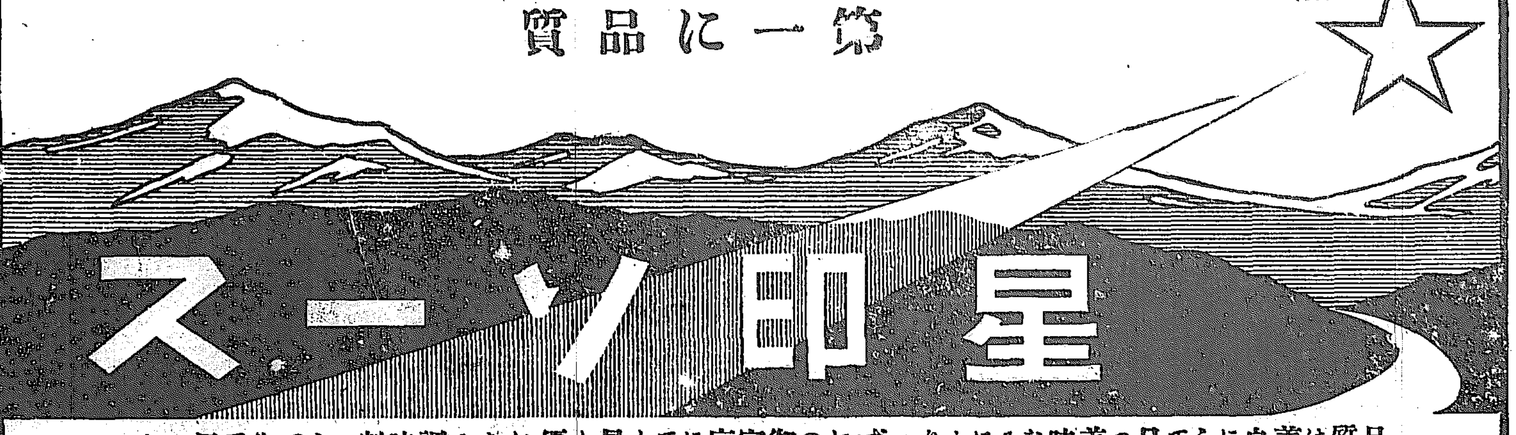
書名	著者	價
當世百道樂	堀内新泉	[illegible]
用家事精義	[illegible]	[illegible]
殖産と石灰問題	[illegible]	[illegible]
孔子及孔子教	服部宇之吉	[illegible]
訓釋本朝名家詩文	[illegible]	[illegible]
論語講義	三島毅	[illegible]
日蓮聖人の孝道	磯野本精	九五
大正五人男	[illegible]	[illegible]
安心生活	[illegible]	[illegible]
成功の經營牛の如し	[illegible]	[illegible]
新モンロオ主義	[illegible]	[illegible]
大正和歌の作り方	[illegible]	[illegible]
新撰日本書畫名家年表	[illegible]	[illegible]
家庭教育七福神	事來[illegible]	三五
役人賞與 貧乏旗	小林鶯州	一五〇
小說つき 淚	[illegible]	六〇
ペン手書と楽書の書方	[illegible]	八五
法律問答	坂上[illegible]	四〇

京城本町二丁目 振替京城五七 大阪屋號書店

再診療開始
昨年十一月以來出張治療中之處患者の希望に依り一月十日より約一ヶ月間再び診療を開始す
痔核。痔瘻。脱肛
直腸脱。痔出血。裂痔
京城長谷川町安東病院 (電七三)内出張
肛門病注射專門
最新式痔疾根治注射療法參考書進呈

ヨーキクー！ ひぜん ひぜん水
本家 大阪市西區新町通二丁目 田知本和三郎謹製
各藥店に販賣す 振替大阪二八一八番
代理店 京城南大門通 新井藥房





品質は善良にして且つ美味なるによりいづれの御家庭にても最も優れたる調味料として御愛用になる
空に星あるが如く星印ソースは到る處にあり最寄の洋酒食料品雜貨店にて御購求を乞ふ
發賣元 大阪市 祭原伊太郎

創業享保二年
家庭必備の良酒
サワノツル
「三星」ホントニウマイ 腹ノ中カラ 仰ヤッテ イタダクガ
特約店 京城本町一丁目 佐藤牧商店 電話二九番
龍山漢江通 佐藤牧支店 電話四二九番

男の生殖器病
生殖器發育不完全で包莖、陰萎、早漏、遺精、夢精、起不全、交接不快、減少、腦神經衰弱等の人は自宅で前眞空療法器と因療藥を併用する時は一回每に効力が現はれ秘密に新案特許の名博士も其實効を證明し實驗諸氏の賞讃湧くが如し 入說明書無代で入用に判らぬ樣密送す 本器は博士數名の効[illegible]卓絶なる證明を有す
東京神田區[illegible]町五 電話神田七二三番 東京眞空療法研究所

(大阪)百円 進呈 りん病 ばいどく 書
麻病藥主藥は治病劑こし梅毒藥主藥は驅梅内服藥こし對藥學上最有効ご確定し東京京都九州帝國醫科大學病院等に於て賞揚配劑せらるゝある高貴藥なる事を保證す若し前述の賦言に違へる事を發見せらるゝ時は分析料こして金百圓呈進
●あらゆる治療を講ずるも効なき患者兎に角一度相談あれ
にせ物に注意 隆盛を羨み東京、京城、大連青島其他到る處商會の僞物を造る奸商あり商會製劑を御購求の諸君は御調製を御買取可被下候
返信券添へ照會あれ詳細回答す
京城南大門外 大阪 グッドラッグ商會
振替京城四六七番 電話長二五六七
大阪有田

大邱浦項間自動車時間
[illegible]
大邱出張所 大塚農場自動車部 電話一一七番

尼崎汽船 仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神阪行
○大有丸 一月 日後四時出帆
○秀吉丸 一月 日後四時出帆
○君が代丸 一月十六日後四時出帆
○神代丸 一月 日後四時出帆
仁川海岸通一丁目 電話五十九番 杉商回漕部

汽船釜山出帆廣告
門司、神戸、大阪行
○立神丸 一月 日後五時出帆
○小倉丸 一月 日後五時出帆
元山、浦鹽行
○立神丸 一月 日後十時出帆
○小倉丸 一月 日後四時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行
○第三寒平丸 一月 日後六時出帆
門司、宇品、神戸、大阪行
○第三寒平丸 一月 日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
○天眞丸 每月二日八日十四日廿一日廿六日(午後十時出帆)
本町 釜山港埋立新町 取扱店 大池回漕部

大阪商船 仁川出帆
[illegible]
御注意 [illegible]
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二〇五〇一一〇八
京城切符發賣所 内鮮運送會社支店
◎中國四國沿岸各港行切符發賣致仕候

共同汽船 仁川出帆
阿波共同汽船株式會社
第十一共同丸 一月 日 入港 日正午出帆
○芝罘、大連行
仁川代理店 本町四丁目(電話一七三番) 野口商會
元山代理店 春日町(電話二四〇七番) 田口回漕部
京城取次店 南大門(電話二六八・二〇一七) 河村運送店

朝鮮郵船 仁川出帆
○全羅丸 一月十五日 釜山發
○京畿丸 一月廿三日 釜山發
○黃海丸 一月二十日 釜山發
○咸鏡丸 [illegible]
○穩城丸 一月 日 元山發
○昌平丸 一月十七日 元山發
○鏡城丸 一月 日 元山發
○昌平丸 一月十六日 元山發
○江原丸 一月 日 釜山發
○襄陽丸 [illegible] 浦項發
○江陵丸 每[illegible] 釜山發
○三浦丸 一月十六日 釜山發
○海州丸 ○統營丸 ○慶寶丸 每日 釜山發
○順天丸 [illegible] 木浦發
○慶興丸 一月十六日 木浦發
○慶興丸 一月 日 木浦發
○公州丸 一月十五日 木浦發
○大江丸 一月 日 仁川發
○江原丸 一月十八日 仁川發
○麗水丸 ○晋州丸 一月十八日 仁川發
○全州丸 ○錦江丸 每日午前 仁川發

○大連行、秦皇島行
○營口丸 一月十五日正午出帆
○淡路丸 一月廿一日正午出帆
○砥丸 一月三十一日正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十番 堀回漕部
○本郵船 仁川出帆